

令和 5 年度

東峰村観光サイン整備基本計画
観光サインデザインガイドライン

令和 6 年 3 月

東 峰 村

令和5年度



東峰村観光サイン整備基本計画 観光サインデザインガイドライン

目次 contents

第1部 東峰村観光サイン整備基本計画

1.計画の概要	……01
2.東峰村内におけるサインの現況について	……02
3.東峰村観光サイン基本方針	……06
4.東峰村観光サイン設置の方向性	……07
～散策ルートマップ ＊サイン設置計画	……08
設置の方向性 ～つづき	……88

第2部 東峰村観光サインデザインガイドライン

1.デザインガイドラインの概要	……97
2.東峰村観光サインの素材と色彩	……98
3.サインの持続的な利用を目指して	……102



第1部

東峰村観光サイン整備基本計画

1. 計画の概要

東峰村を対象とするこれからの観光をサポートする重要なツールとして、よりわかりやすく美しく、景観を阻害することなく利用者に的確な情報を提供する観光サインが望まれます。東峰村には、合併以前に宝珠山村、小石原村双方で計画し、設置したそれぞれの意図に基づいたサインが残存し、さらにその後もさまざまな設置者がサインを設置してきました。これらは来村者に対して大きな役割を担ってきましたが、時間の経過とともにサイン自体が劣化したり、情報が古くなったものもあります。本事業ではこうした東峰村内のサインについて現況を調査し、これからの時代に見合う東峰村の観光を支えるサインのあり方について基本的な考えをまとめます。また、具体的なサイン像を共有するためにデザインガイドラインを策定し、統一感のある効果的なサインを整備する上での指針とします。

本事業の要点

- 東峰村内の観光に関連するサインの現況を調査し、まとめる
- 東峰村内の既存サインの抱える課題を抽出する
- 観光客の来訪を想定されるエリアごとのルートを仮構築する
- 東峰村の観光サインに求められるデザインの基本方針を定める
- 観光に必要な誘導サイン、解説サイン等の具体例を計画する
- 以上を踏まえて観光サインデザインガイドラインを策定する

以上のような事業スキームに従って、東峰村内の観光サインを今後どのように整備、充実させてゆくのかをあらゆる立場の方々が理解共有できるよう、本基本計画書をまとめます。

なお、これらの事業を円滑に進め、地域住民や関係者の意向を尊重するために委員会等でのヒアリングやアンケートを行い、計画に効果的に反映させます。

2. 東峰村内におけるサインの現況について

本事業では、東峰村内および村境周辺に立地するさまざまなサインについて悉皆調査を実施しました。調査対象からは道路標識および民間企業等の設置したサイン看板は除外しています。調査に際しては下記のような調査カードを作成し、さらに現場実測に基づいてサインの現況図面を作成。これらは「東峰村内サイン現況調査報告書」として別冊報告書を作成。現時点で村内に設置されているサインのほぼすべてを網羅しており、今後のサイン計画に応用できます。

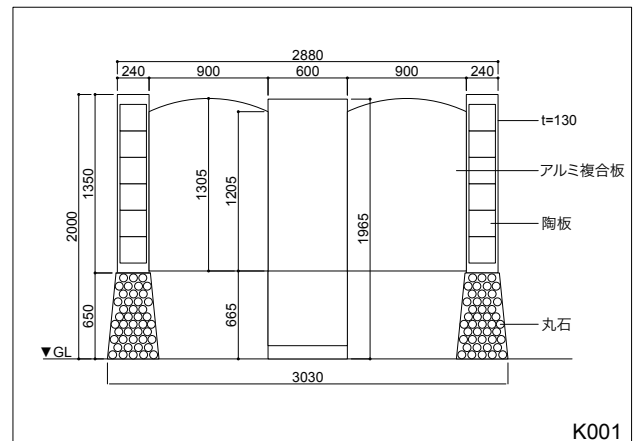
小石原エリア 既存サイン調査カード

K001

設置場所	道の駅小石原内	シリーズ	
種 別	地図	設置位置情報	
サイズ (mm)	板面高さ： 2,000 板面幅： 3,030 サイン幅： 3,030 サイン総高： 2,000	設置高さ： (路面～板面下縁まで) 650	
材 質	板面： アルミ複合板 脚： 柱部：陶板、 台座：丸石	設置位置詳細	
表記内容	陶の里ご案内(中央：H1,300×W600) 小石原散策マップ(左：H1,305×W900) 小石原おすすめマップ(右：H1,305×W900)		
現 況	板面： 本体退色剥離 裏側剥離 脚： 本体：退色、 その他： 裏側：剥離		
展 望	補修 ・板面：張替 ・脚：鉄部本体再塗装		
現 況 写 真			

調査日： 2023年12月5日

令和5年度東峰村観光サイン整備基本計画策定業務



現況調査結果の活かし方 *これらは調査時にカードに記載しており、今後の計画に応用できます。

- 設置位置：マップ上にポイントを落とし、写真で設置状況を明記。
- サインの状態…傷み具合や安全性を確認。特に汚損、退色、錆、固定状況など。
- サイン内容…サインとしての表記内容が現在も通用するものかを判断。
- 既存サイン使用の可否…今後の展望として、撤去、改修、継続使用などを判断。

東峰村内におけるサインの現況について ～つづき

ここでは東峰村内のサイン現況調査の結果を踏まえ、その現況と課題についてまとめます。

① サイン老朽化

村内サインの多くについて設置からかなりの時間が経過しており、板面や脚部の物理的な劣化が見られます。屋外設置のサインがほとんどであり、紫外線による退色やひび割れ、剥離などが見られるほか、森林が近い部分では板面に苔状の汚れが付着し、板面が読めなくなっている例も多く見られました。

② サイン内容

サインの設置からかなりの時間が経過し、記載内容に誤りや実際と適合しない部分があるものも散見されました。また、合併前の村名などがそのまま表記されたものもあります。

③ 設置のありかた

さまざまなサイン設置者がその設置効果を高めるために同じような場所に集中して立てたり、独自のデザインを主張するあまり、環境や景観と調和しないサインが乱立している状況もあります。

④ サインの設置と観光ルート醸成がリンクしていない

サインで誘導することで形成される東峰村内の観光ルート自体が確立しておらず、施設や地域への道標としては役立っているが東峰村の周遊や散策を目的とするサインが少ない。

⑤ 史跡、遺跡、文化的自然的遺産の解説

旧宝珠山村のエリアでは「宝珠山村歴史探訪マップ」を基礎に 30 箇所に渡る歴史探訪ポイントを設定して解説板を設置。さらに主要箇所に大型の案内マップも設置していますが、それに類する史跡巡りコースの設定が旧小石原村にはありません。



旧宝珠山村の歴史探訪マップとそれにリンクした案内マップ、個別解説サイン

旧宝珠山村全域を対象とする文化財探訪ルートとそのツールであるが、老朽化が見られる。また、旧小石原村エリアにはこれに類するルート、ツールがない。

東峰村内におけるサインの現況について ～つづき

東峰村内のサインに見られる課題

- 色や形がまちまちのサインが乱立しておりわかりづらい
- 汚損、破損、褪色し老朽化しているサインが非常に多い
- 記載内容が古かったり旧村名のままのものもある
- 誘導すべき観光ルート自体が明解でないものがある



板面に汚れが付着したものが多く、設置以来清掃などのメンテナンスが行われていないと考えられる→解決可能



さまざまなデザインの設置者の異なるサインが乱立し、景観を阻害している



文字が小さい上に汚損により読めないサイン



倒壊したままの遊歩道サイン



路上サインに限らず、来村されるお客さまの視点で見ると整理整頓で美しくできる施設サイン

東峰村内におけるサインの現況について ～つづき
課題への対策指針

① サイン老朽化

●本体改修：脚部の錆や腐食、ぐらつき、塗膜の剥がれや退色、変形に対応

対策具体案→再塗装、板金、脚部材交換、設置修正（固定強化、レベリング、補強）

●板面改修：板面の退色、剥離、ひび割れ、激しい汚損に対応

対策具体案→データ制作の上、板面張り替え（交換、上張り、一部修正等）

石柱型の陰刻文字については色差し（文字部分だけ視認性の良い白などの塗色）

●徹底的なクリーニング：汚損しているものに対応

対策具体案→村内のサイン全体を清掃

●撤去：不要なサインの排除、老朽化が著しいものは撤去新設

対策具体案→現況確認の上、撤去するものを選択。必要に応じて新設

② サイン内容

●板面情報の入れ替え：陳腐化した表記内容の修正、新しい情報への入れ替え

対策具体案→必要に応じて内容を更新し板面張り替え

③ 設置のありかた

●景観阻害の解消：サイン乱立箇所、放置サイン等への対策

対策具体案→乱立地帯の解消とそのための協議（設置者や住民）、改善策の提案

④ サインの設置と観光ルートのリンケージ

●サインの必要性と設置位置の再考：求められるサインをルートとともに検証

対策具体案→新たな観光ルートに基づくサイン位置の設定

⑤ 史跡、遺跡、文化的自然的遺産の解説

●旧小石原村エリアにおける文化財顕彰：必要箇所への適切な解消や誘導等の対応

対策具体案→旧小石原村エリアの文化財に対して旧宝珠山村エリアと同等の顕彰を行う準備をする。最終的には東峰村の歴史探訪ルートとして全村統一的に整備。

3. 東峰村観光サイン基本方針

わかりやすく美しく景観に調和するミニマムでシンプルな観光サイン

視認性が良く、わかりやすくあるべき観光サインですが、地域独自の景観や環境を阻害するようなデザインでは本末転倒となり得ます。そこで東峰村の自然や歴史といった背景環境を十分に考慮し、周囲の山々や里の風景をも加味したサインの製作設置を前提とします。また、地球環境にも配慮し、場所や用途に合った素材と仕様を使い分けながら、全体としては統一感のあるデザインを目指します。

東峰村観光サインのデザイン基本方針

- 真に必要なサインを検証し、既存サインも改修して有効に活用する。
- 歩行者や自転車、自動車等、利用者の目線を想定したサイズとする。
- 色調やロゴタイプはガイドラインに定め、村内の統一感を重視する。
- 東峰村の進める観光施策にリンクした有効なサインを企画制作する。
- 腐食、退色しにくく安価でかつ板面交換のしやすい素材を多用する。
- 場所によっては木質や陶質等の独自の素材を使用し質感を重視する。
- サインメンテナンスを重視し、恒常的な清掃などの仕組みを考える。

【サインの類別】

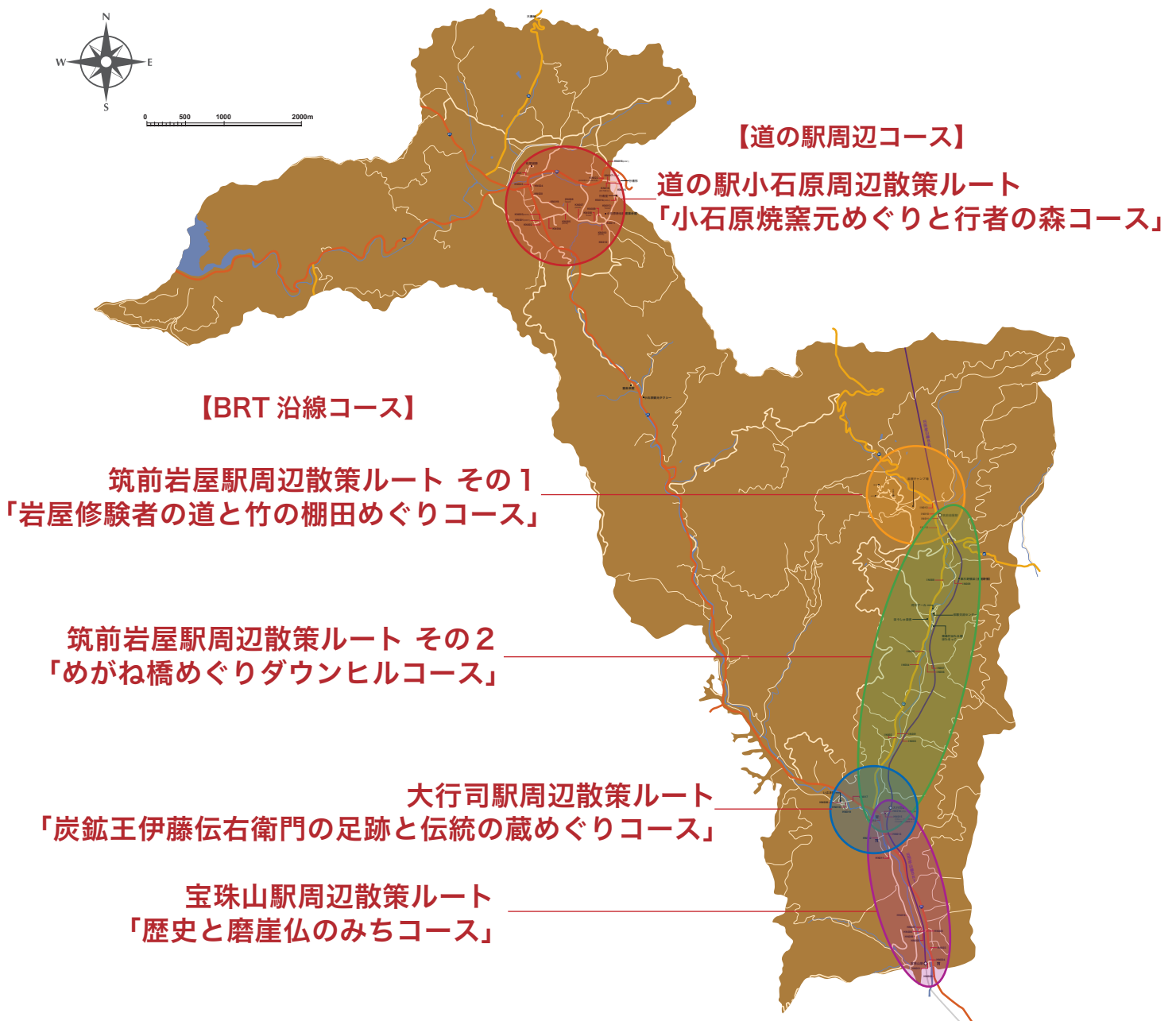
- | | |
|------------|---|
| ●案内マップ | 設置：BRT 駅、道の駅、主要な見どころ、ほか観光拠点
仕様：アルミ複合板、アルミ＋シート経師等 |
| ●誘導サイン | 設置：各見どころや主要ルートへの誘導地点
仕様：アルミ複合板、木製表示板、陶板 |
| ●解説サイン | 設置：各見どころ現地・展望地点
仕様：アルミ複合板、アルミ＋シート経師等 |
| ●施設名称サイン | 設置：見どころ施設、主要なみどころポイント
仕様：アルミ複合板、アルミ＋シート経師等 |
| ●施設機能紹介サイン | 設置：機能を説明すべき施設やポイント
仕様：アルミ複合板、アルミ＋シート経師等 |
| ●ウェルカムサイン | 設置：市町村境、エリア境界
仕様：アース素材による土台＋立体文字、シート文字等 |

4. 東峰村観光サイン設置の方向性

BRTの開通など、新たな展開を迎えた東峰村においてこれからの持続的な観光ルートを展望し、それに見合う観光サインを整備することは重要です。そのために本計画では現時点で魅力的な村内の見どころポイントについて調査し、来村者の目線でルートを構築、サイン設置のあり方を検証しました。

東峰村の散策ルート

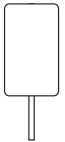
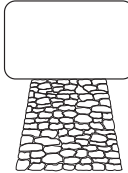
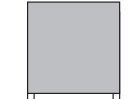
- 1、道の駅小石原周辺散策ルート
- 2、筑前岩屋駅周辺散策ルートその1（岩屋・竹方面）
- 3、筑前岩屋駅周辺散策ルートその2（筑前岩屋駅～大行司駅間）
- 4、大行司駅周辺散策ルート
- 5、宝珠山駅周辺散策ルート（大行司駅～宝珠山駅間）



至秋月
甘木



観光サイン提案カード

サインNo. KN001 (K001)	コース 道の駅小石原周辺散策ルート 「小石原焼窯元めぐりと行者の森コース」
サイン形態  誘導 S 片・両  誘導 M 片・両  施設誘導 片・両  施設名称 M 片・両  施設名称 L 片・両  モニュメント型  解説 S  解説 M  解説 L  マップ L  既存サイン 改修	サイン内容 ☐ 行き先名称 【備考】 ☐ 距離 ・ 既存K001を改修 ☐ 矢印 ☐ 施設名称 ☒ 解説文章 ☐ 図版・写真 ☒ 地図
設置希望位置概要 	設置希望位置詳細 
設置希望位置写真   	

調査日： 2024年2月6日

令和5年度東峰村観光サイン整備基本計画策定業務

観光サイン提案カード

サインNo. KN002	コース 道の駅小石原周辺散策ルート 「小石原焼窯元めぐりと行者の森コース」
サイン形態 誘導 S 片・両 誘導 M 片・両 施設誘導 片・両 施設名称 M 片・両 施設名称 L 片・両 モニュメント型 解説 S 解説 M 解説 L マップ L 既存サイン 改修	サイン内容 ☒ 行き先名称 ☐ 距離 ☒ 矢印 ☐ 施設名称 ☐ 解説文章 ☐ 図版・写真 ☐ 地図
設置希望位置概要 	設置希望位置詳細 
設置希望位置写真 	

観光サイン提案カード

サインNo. KN003 (K007)	コース 道の駅小石原周辺散策ルート 「小石原焼窯元めぐりと行者の森コース」
サイン形態 誘導 S 片・両 誘導 M 片・両 施設誘導 片・両 施設名称 M 片・両 施設名称 L 片・両 モニュメント型 解説 S 解説 M 解説 L マップ L 既存サイン 改修	サイン内容 ☒ 行き先名称 【備考】 ☐ 距離 ・既存K007を改修 ☒ 矢印 ☐ 施設名称 ☐ 解説文章 ☐ 図版・写真 ☐ 地図
設置希望位置概要	設置希望位置詳細
設置希望位置写真	

調査日： 2024年2月6日

令和5年度東峰村観光サイン整備基本計画策定業務

観光サイン提案カード

サインNo. KN004	コース 道の駅小石原周辺散策ルート 「小石原焼窯元めぐりと行者の森コース」
サイン形態  誘導 S 片・両  誘導 M 片・両  施設誘導 片・両  施設名称 M 片・両  施設名称 L 片・両  モニュメント型  解説 S  解説 M  解説 L  マップ L  既存サイン 改修	サイン内容 ☒ 行き先名称 ☐ 距離 ☒ 矢印 ☐ 施設名称 ☐ 解説文章 ☐ 図版・写真 ☐ 地図
設置希望位置概要 	設置希望位置詳細 
設置希望位置写真 	

観光サイン提案カード

サインNo. KN005 (K022)	コース 道の駅小石原周辺散策ルート 「小石原焼窯元めぐりと行者の森コース」
サイン形態 誘導 S 片・両 誘導 M 片・両 施設誘導 片・両 施設名称 M 片・両 施設名称 L 片・両 モニュメント型 解説 S 解説 M 解説 L マップ L 既存サイン 改修	サイン内容 ☒ 行き先名称 【備考】 ☐ 距離 ・既存K002を改修 ☒ 矢印 ☐ 施設名称 ☐ 解説文章 ☐ 図版・写真 ☐ 地図
設置希望位置概要	設置希望位置詳細
設置希望位置写真	

調査日： 2024年2月6日

令和5年度東峰村観光サイン整備基本計画策定業務

観光サイン提案カード

サインNo. KN006 (K023)	コース 道の駅小石原周辺散策ルート 「小石原焼窯元めぐりと行者の森コース」
サイン形態 誘導 S 片・両 誘導 M 片・両 施設誘導 片・両 施設名称 M 片・両 施設名称 L 片・両 モニュメント型 解説 S 解説 M 解説 L マップ L 既存サイン 改修	サイン内容 ☒ 行き先名称 【備考】 ☒ 距離 ・既存K023を改修 ☒ 矢印 ☐ 施設名称 ☐ 解説文章 ☐ 図版・写真 ☒ 地図
設置希望位置概要	設置希望位置詳細
設置希望位置写真	

観光サイン提案カード

サインNo. KN007 (K038)	コース 道の駅小石原周辺散策ルート 「小石原焼窯元めぐりと行者の森コース」
サイン形態 誘導 S 片・両 誘導 M 片・両 施設誘導 片・両 施設名称 M 片・両 施設名称 L 片・両 モニュメント型 解説 S 解説 M 解説 L マップ L 既存サイン 改修	サイン内容 ☒ 行き先名称 【備考】 ☐ 距離 ・既存K038を改修 ☐ 矢印 ☒ 施設名称 ☐ 解説文章 ☐ 図版・写真 ☒ 地図
設置希望位置概要	設置希望位置詳細
設置希望位置写真	

観光サイン提案カード

サインNo. KN008 (K043)	コース 道の駅小石原周辺散策ルート 「小石原焼窯元めぐりと行者の森コース」
サイン形態 誘導 S 片・両 誘導 M 片・両 施設誘導 片・両 施設名称 M 片・両 施設名称 L 片・両 モニュメント型 解説 S 解説 M 解説 L マップ L 既存サイン 改修	サイン内容 ☐ 行き先名称 【備考】 ☐ 距離 ・既存K043を改修 ☐ 矢印 ☐ 施設名称 ☒ 解説文章 ☐ 図版・写真 ☒ 地図
設置希望位置概要	設置希望位置詳細
設置希望位置写真	

観光サイン提案カード

サインNo. KN009	コース 道の駅小石原周辺散策ルート 「小石原焼窯元めぐりと行者の森コース」
サイン形態 誘導 S 片・両 誘導 M 片・両 施設誘導 片・両 施設名称 M 片・両 施設名称 L 片・両 モニュメント型 解説 S 解説 M 解説 L マップ L 既存サイン 改修	サイン内容 ☒ 行き先名称 ☐ 距離 ☒ 矢印 ☐ 施設名称 ☐ 解説文章 ☐ 図版・写真 ☐ 地図
設置希望位置概要	設置希望位置詳細
設置希望位置写真	

観光サイン提案カード

サインNo. KN010 (K054)	コース 道の駅小石原周辺散策ルート 「小石原焼窯元めぐりと行者の森コース」
サイン形態 誘導 S 片・両 誘導 M 片・両 施設誘導 片・両 施設名称 M 片・両 施設名称 L 片・両 モニュメント型 解説 S 解説 M 解説 L マップ L 既存サイン 改修	サイン内容 ☒ 行き先名称 【備考】 ☐ 距離 ・既存K054を改修 ☒ 矢印 ☐ 施設名称 ☐ 解説文章 ☐ 図版・写真 ☐ 地図
設置希望位置概要	設置希望位置詳細
設置希望位置写真	

観光サイン提案カード

サインNo. KN011	コース 道の駅小石原周辺散策ルート 「小石原焼窯元めぐりと行者の森コース」
サイン形態 誘導 S 片・両 誘導 M 片・両 施設誘導 片・両 施設名称 M 片・両 施設名称 L 片・両 モニュメント型 解説 S 解説 M 解説 L マップ L 既存サイン 改修	サイン内容 ☒ 行き先名称 【備考】 ・同位置の既存K060は撤去 ☐ 距離 ☒ 矢印 ☐ 施設名称 ☐ 解説文章 ☐ 図版・写真 ☐ 地図
設置希望位置概要 	設置希望位置詳細 
設置希望位置写真 	

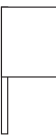
調査日： 2024年2月6日

令和5年度東峰村観光サイン整備基本計画策定業務

観光サイン提案カード

サインNo. KN012	コース 道の駅小石原周辺散策ルート 「小石原焼窯元めぐりと行者の森コース」
サイン形態 誘導 S 片・両 誘導 M 片・両 施設誘導 片・両 施設名称 M 片・両 施設名称 L 片・両 モニュメント型 解説 S 解説 M 解説 L マップ L 既存サイン 改修	サイン内容 ☒ 行き先名称 ☐ 距離 ☒ 矢印 ☐ 施設名称 ☐ 解説文章 ☐ 図版・写真 ☐ 地図
設置希望位置概要	設置希望位置詳細
設置希望位置写真	

観光サイン提案カード

サインNo. KN013 (K063)	コース 道の駅小石原周辺散策ルート 「小石原焼窯元めぐりと行者の森コース」
サイン形態  誘導 S 片・両  誘導 M 片・両  施設誘導 片・両  施設名称M 片・両  施設名称L 片・両  モニュメント型  解説 S  解説M  解説L  マップL  既存サイン 改修	サイン内容 ☒ 行き先名称 【備考】 ☒ 距離 ・既存K063を改修 ☒ 矢印 ☐ 施設名称 ☐ 解説文章 ☐ 図版・写真 ☐ 地図
設置希望位置概要 	設置希望位置詳細 
設置希望位置写真 	

観光サイン提案カード

サインNo. KN014 (K064)	コース 道の駅小石原周辺散策ルート 「小石原焼窯元めぐりと行者の森コース」
サイン形態 誘導 S 片・両 誘導 M 片・両 施設誘導 片・両 施設名称 M 片・両 施設名称 L 片・両 モニュメント型 解説 S 解説 M 解説 L マップ L 既存サイン 改修	サイン内容 ☐ 行き先名称 【備考】 ☐ 距離 ・既存K064を改修 ☐ 矢印 ☒ 施設名称 ☒ 解説文章 ☐ 図版・写真 ☒ 地図
設置希望位置概要	設置希望位置詳細
設置希望位置写真	

観光サイン提案カード

サインNo. KN015	コース 道の駅小石原周辺散策ルート 「小石原焼窯元めぐりと行者の森コース」
サイン形態 誘導 S 片・両 誘導 M 片・両 施設誘導 片・両 施設名称 M 片・両 施設名称 L 片・両 モニュメント型 解説 S 解説 M 解説 L マップ L 既存サイン 改修	サイン内容 ☒ 行き先名称 ☒ 距離 ☒ 矢印 ☐ 施設名称 ☐ 解説文章 ☐ 図版・写真 ☐ 地図
設置希望位置概要 	設置希望位置詳細 
設置希望位置写真 	

観光サイン提案カード

サインNo. KN016	コース 道の駅小石原周辺散策ルート 「小石原焼窯元めぐりと行者の森コース」
サイン形態 誘導 S 片・両 誘導 M 片・両 施設誘導 片・両 施設名称 M 片・両 施設名称 L 片・両 モニュメント型 解説 S 解説 M 解説 L マップ L 既存サイン 改修	サイン内容 ☐ 行き先名称 【備考】 ☐ 距離 ・ 同位置既存K070は撤去 ☐ 矢印 ☒ 施設名称 ☒ 解説文章 ☐ 図版・写真 ☒ 地図
設置希望位置概要	設置希望位置詳細
設置希望位置写真	

調査日： 2024年2月6日

令和5年度東峰村観光サイン整備基本計画策定業務

観光サイン提案カード

サインNo. KN017	コース 道の駅小石原周辺散策ルート 「小石原焼窯元めぐりと行者の森コース」
サイン形態  誘導 S 片・両  誘導 M 片・両  施設誘導 片・両  施設名称 M 片・両  施設名称 L 片・両  モニュメント型  解説 S  解説 M  解説 L  マップ L  既存サイン 改修	サイン内容 ☒ 行き先名称 【備考】 ☐ 距離 ・ 同位置既存K083は撤去 ☒ 矢印 ☐ 施設名称 ☒ 解説文章 ☐ 図版・写真 ☐ 地図
設置希望位置概要 	設置希望位置詳細 
設置希望位置写真  	

観光サイン提案カード

サインNo. KN018 (K091)	コース 道の駅小石原周辺散策ルート 「小石原焼窯元めぐりと行者の森コース」
サイン形態 誘導 S 片・両 誘導 M 片・両 施設誘導 片・両 施設名称 M 片・両 施設名称 L 片・両 解説 S 解説 M 解説 L マップ L モニュメント型 既存サイン 改修	サイン内容 ☐ 行き先名称 【備考】 ☐ 距離 ・既存K091を改修 ☐ 矢印 ☐ 施設名称 ☐ 解説文章 ☐ 図版・写真 ☐ 地図 ☒ ウェルカムサイン
設置希望位置概要 	設置希望位置詳細 
設置希望位置写真 	

調査日： 2024年2月6日

令和5年度東峰村観光サイン整備基本計画策定業務

観光サイン提案カード

サインNo. KN019	コース 道の駅小石原周辺散策ルート 「小石原焼窯元めぐりと行者の森コース」
サイン形態 誘導 S 片・両 誘導 M 片・両 施設誘導 片・両 施設名称 M 片・両 施設名称 L 片・両 モニュメント型 解説 S 解説 M 解説 L マップ L 既存サイン 改修	サイン内容 ☒ 行き先名称 ☐ 距離 ☒ 矢印 ☐ 施設名称 ☐ 解説文章 ☐ 図版・写真 ☐ 地図
設置希望位置概要	設置希望位置詳細
設置希望位置写真	

観光サイン提案カード

サインNo. KN020	コース 道の駅小石原周辺散策ルート 「小石原焼窯元めぐりと行者の森コース」
サイン形態 誘導 S 片・両 (L型) 誘導 M 片・両 施設誘導 片・両 施設名称 M 片・両 施設名称 L 片・両 モニュメント型 解説 S 解説 M 解説 L マップ L 既存サイン 改修	サイン内容 ☒ 行き先名称 ☐ 距離 ☒ 矢印 ☐ 施設名称 ☐ 解説文章 ☐ 図版・写真 ☐ 地図
設置希望位置概要	設置希望位置詳細
設置希望位置写真	

観光サイン提案カード

サインNo. KN021	コース 備考 松尾城への誘導サイン、既存K096の隣
サイン形態 誘導 S 片・両 誘導 M 片・両 施設誘導 片・両 施設名称 M 片・両 施設名称 L 片・両 モニュメント型 解説 S 解説 M 解説 L マップ L 既存サイン 改修	サイン内容 ☒ 行き先名称 ☒ 距離 ☒ 矢印 ☐ 施設名称 ☐ 解説文章 ☐ 図版・写真 ☐ 地図
設置希望位置概要	設置希望位置詳細
設置希望位置写真	

調査日： 2024年2月7日

令和5年度東峰村観光サイン整備基本計画策定業務

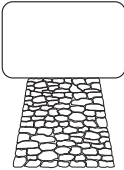
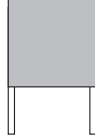
観光サイン提案カード

サインNo. KN022 (K086)	コース 道の駅小石原周辺散策ルート 「小石原焼窯元めぐりと行者の森コース」
サイン形態 誘導 S 片・両 誘導 M 片・両 施設誘導 片・両 施設名称 M 片・両 施設名称 L 片・両 モニュメント型 解説 S 解説 M 解説 L マップ L 既存サイン 改修	サイン内容 ☒ 行き先名称 【備考】 ☐ 距離 ・ 近くにある既存K084は撤去 ☒ 矢印 ☐ 施設名称 ☐ 解説文章 ☐ 図版・写真 ☐ 地図
設置希望位置概要	設置希望位置詳細
設置希望位置写真	

調査日： 2024年2月7日

令和5年度東峰村観光サイン整備基本計画策定業務

観光サイン提案カード

サインNo. KN023	コース 道の駅小石原周辺散策ルート 「小石原焼窯元めぐりと行者の森コース」
サイン形態  誘導 S 片・両  誘導 M 片・両  施設誘導 片・両  施設名称 M 片・両  施設名称 L 片・両  モニュメント型  解説 S  解説 M  解説 L  マップ L  既存サイン 改修	サイン内容 ☒ 行き先名称 ☐ 距離 ☒ 矢印 ☐ 施設名称 ☐ 解説文章 ☐ 図版・写真 ☐ 地図
設置希望位置概要 	設置希望位置詳細 
設置希望位置写真 	

観光サイン提案カード

サインNo. KN024	コース 道の駅小石原周辺散策ルート 「小石原焼窯元めぐりと行者の森コース」
サイン形態  誘導 S 片・両  誘導 M 片・両  施設誘導 片・両  施設名称 M 片・両  施設名称 L 片・両  モニュメント型  解説 S  解説 M  解説 L  マップ L  既存サイン 改修	サイン内容 ☐ 行き先名称 ☐ 距離 ☐ 矢印 ☒ 施設名称 ☒ 解説文章 ☒ 図版・写真 ☐ 地図
設置希望位置概要 	設置希望位置詳細 
設置希望位置写真 	

調査日： 2024年2月7日

令和5年度東峰村観光サイン整備基本計画策定業務

筑前岩屋駅周辺散策ルート 「岩屋修験者の道と竹の棚田めぐりコース」



熊野神社：懸け造りの魅力

至 英彦山、添田

●宿泊：今後のあり方を検討

古民家ヴィラ
あんたげ

IN023
誘導サイン

●食事 & cafe 機能

里山カフェ
棚田屋

IN022
誘導サイン

IN025
誘導サイン

至筑前岩屋駅
岩屋神社参道入口経由
1.8Km

至筑前岩屋駅
県道経由直行
1.0Km

IN020
誘導サイン

展望台

IN021
誘導サイン



岩屋神社：山岳修験の霊場を比較的
容易に体感できる素晴らしい空間

釈迦ヶ岳トンネル（4380m）

BRT ひこぼしライン



堂宇建築だけでなく、自然を活か
した行場の魅力を来訪者に伝える



比較的安全なくさり場が多いので、装備や
ルールを啓蒙して活用すべき

【散策ルート凡例】

- 徒歩・電動自転車等散策ルート
- 岩屋修験者の道ハイライトコース
- 岩屋修験者の道体験大日社コース
- 岩屋修験者の道難所チャレンジコース

●休憩・トイレ
●既存施設を活用できれば

【修験者の道を使用する場合の課題】

- 安全性の確保、特にオーバーツーリズムのリスクを考える。
- 入山者のマナーや装備に関する注意喚起が極めて重要。
- ガイドツアーの可能性を検討する。特に土日、休日の対応。
- トイレのあり方について、ツーリズムと並行して考える。
- 神域、文化財であることに配慮。盗難や損壊への対策。
- 道、くさり場、堂宇の維持管理、サインの維持管理を検討。

IN010
施設名称メインサイン

IN011
筑前岩屋駅周辺
散策ルート案内マップ

至 大行司、宝珠山、日田、杷木

- 案内
- レンタル *自転車・用具
- パーキング
- shop & cafe 機能
- 散策情報提供
- 周辺散策スタート
ゴール



観光サイン提案カード

サインNo. IN013	コース 筑前岩屋駅周辺散策ルート 「岩屋修験者の道と竹の棚田めぐりコース」
サイン形態  誘導 S 片・両  誘導 M 片・両  施設誘導 片・両  施設名称 M 片・両  施設名称 L 片・両  モニュメント型  解説 S  解説 M  解説 L  マップ L  既存サイン 改修	サイン内容 ☒ 行き先名称 ☐ 距離 ☒ 矢印 ☐ 施設名称 ☐ 解説文章 ☐ 図版・写真 ☐ 地図
設置希望位置概要 	設置希望位置詳細 
設置希望位置写真 	

観光サイン提案カード

サインNo. IN015	コース 筑前岩屋駅周辺散策ルート 「岩屋修験者の道と竹の棚田めぐりコース」
サイン形態  誘導 S 片・両  誘導 M 片・両  施設誘導 片・両  施設名称 M 片・両  施設名称 L 片・両  モニュメント型  解説 S  解説 M  解説 L  マップ L  既存サイン改修	サイン内容 ☒ 行き先名称 ☒ 距離 ☒ 矢印 ☐ 施設名称 ☐ 解説文章 ☐ 図版・写真 ☐ 地図
設置希望位置概要 	設置希望位置詳細 
設置希望位置写真	

調査日：

令和5年度東峰村観光サイン整備基本計画策定業務

観光サイン提案カード

サインNo. IN016	コース 筑前岩屋駅周辺散策ルート 「岩屋修験者の道と竹の棚田めぐりコース」
サイン形態 誘導 S 片・両 誘導 M 片・両 施設誘導 片・両 施設名称 M 片・両 施設名称 L 片・両 モニュメント型 解説 S 解説 M 解説 L マップ L 既存サイン 改修	サイン内容 ☒ 行き先名称 ☐ 距離 ☒ 矢印 ☐ 施設名称 ☒ 解説文章 ☐ 図版・写真 ☐ 地図
設置希望位置概要	設置希望位置詳細
設置希望位置写真	

調査日：

令和5年度東峰村観光サイン整備基本計画策定業務

観光サイン提案カード

サインNo. IN017	コース 筑前岩屋駅周辺散策ルート 「岩屋修験者の道と竹の棚田めぐりコース」
サイン形態 誘導 S 片・両 誘導 M 片・両 施設誘導 片・両 施設名称 M 片・両 施設名称 L 片・両 モニュメント型 解説 S 解説 M 解説 L マップ L 既存サイン 改修	サイン内容 ☒ 行き先名称 【備考】 ☐ 距離 ・トイレピクト ☒ 矢印 ・インフォメーションピクト ☒ 施設名称 ☐ 解説文章 ☐ 図版・写真 ☐ 地図
設置希望位置概要	設置希望位置詳細
設置希望位置写真	

調査日：

令和5年度東峰村観光サイン整備基本計画策定業務

観光サイン提案カード

サインNo. IN018	コース 筑前岩屋駅周辺散策ルート 「岩屋修験者の道と竹の棚田めぐりコース」
サイン形態 誘導 S 片・両 誘導 M 片・両 施設誘導 片・両 施設名称 M 片・両 施設名称 L 片・両 モニュメント型 解説 S 解説 M 解説 L マップ L 既存サイン 改修	サイン内容 ☒ 行き先名称 ☐ 距離 ☒ 矢印 ☐ 施設名称 ☐ 解説文章 ☐ 図版・写真 ☐ 地図
設置希望位置概要	設置希望位置詳細
設置希望位置写真	

調査日：

令和5年度東峰村観光サイン整備基本計画策定業務

観光サイン提案カード

サインNo. IN019 (I067)	コース 筑前岩屋駅周辺散策ルート 「岩屋修験者の道と竹の棚田めぐりコース」
サイン形態 誘導 S 片・両 誘導 M 片・両 施設誘導 片・両 施設名称 M 片・両 施設名称 L 片・両 モニュメント型 解説 S 解説 M 解説 L マップ L 既存サイン 改修	サイン内容 ☐ 行き先名称 【備考】 ☐ 距離 ・既存I067を改修 ☐ 矢印 ☐ 施設名称 ☒ 解説文章 ☒ 図版・写真 ☒ 地図
設置希望位置概要	設置希望位置詳細
設置希望位置写真	

調査日：

令和5年度東峰村観光サイン整備基本計画策定業務

観光サイン提案カード

サインNo. IN020	コース 筑前岩屋駅周辺散策ルート 「岩屋修験者の道と竹の棚田めぐりコース」
サイン形態 誘導 S 片・両 誘導 M 片・両 施設誘導 片・両 施設名称 M 片・両 施設名称 L 片・両 モニュメント型 解説 S 解説 M 解説 L マップ L 既存サイン 改修	サイン内容 ☒ 行き先名称 ☐ 距離 ☒ 矢印 ☐ 施設名称 ☐ 解説文章 ☐ 図版・写真 ☐ 地図
設置希望位置概要 	設置希望位置詳細 
設置希望位置写真	

調査日：

令和5年度東峰村観光サイン整備基本計画策定業務

観光サイン提案カード

サインNo. IN021	コース 筑前岩屋駅周辺散策ルート 「岩屋修験者の道と竹の棚田めぐりコース」
サイン形態 誘導 S 片・両 誘導 M 片・両 施設誘導 片・両 施設名称 M 片・両 施設名称 L 片・両 モニュメント型 解説 S 解説 M 解説 L マップ L 既存サイン 改修	サイン内容 ☒ 行き先名称 ☐ 距離 ☒ 矢印 ☐ 施設名称 ☐ 解説文章 ☐ 図版・写真 ☐ 地図
設置希望位置概要	設置希望位置詳細
設置希望位置写真	

調査日：

令和5年度東峰村観光サイン整備基本計画策定業務

観光サイン提案カード

サインNo. IN022	コース 筑前岩屋駅周辺散策ルート 「岩屋修験者の道と竹の棚田めぐりコース」
サイン形態 誘導 S 片・両 誘導 M 片・両 施設誘導 片・両 施設名称 M 片・両 施設名称 L 片・両 モニュメント型 解説 S 解説 M 解説 L マップ L 既存サイン 改修	サイン内容 ☒ 行き先名称 ☐ 距離 ☒ 矢印 ☐ 施設名称 ☐ 解説文章 ☐ 図版・写真 ☐ 地図
設置希望位置概要	設置希望位置詳細
設置希望位置写真	

調査日：

令和5年度東峰村観光サイン整備基本計画策定業務

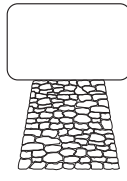
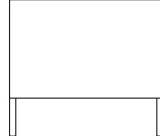
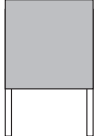
観光サイン提案カード

サインNo. IN023	コース 筑前岩屋駅周辺散策ルート 「岩屋修験者の道と竹の棚田めぐりコース」
サイン形態  誘導 S 片・両  誘導 M 片・両  施設誘導 片・両  施設名称 M 片・両  施設名称 L 片・両  モニュメント型  解説 S  解説 M  解説 L  マップ L  既存サイン 改修	サイン内容 ☒ 行き先名称 ☐ 距離 ☒ 矢印 ☐ 施設名称 ☐ 解説文章 ☐ 図版・写真 ☐ 地図
設置希望位置概要 	設置希望位置詳細 
設置希望位置写真	

調査日：

令和5年度東峰村観光サイン整備基本計画策定業務

観光サイン提案カード

サインNo. IN024	コース 筑前岩屋駅周辺散策ルート 「岩屋修験者の道と竹の棚田めぐりコース」
サイン形態  誘導 S 片・両  誘導 M 片・両  施設誘導 片・両  施設名称 M 片・両  施設名称 L 片・両  モニュメント型  解説 S  解説 M  解説 L  マップ L  既存サイン 改修	サイン内容 ☒ 行き先名称 ☐ 距離 ☒ 矢印 ☐ 施設名称 ☐ 解説文章 ☐ 図版・写真 ☐ 地図
設置希望位置概要 	設置希望位置詳細  ↓ 至 竹棚田展望台
設置希望位置写真	

調査日：

令和5年度東峰村観光サイン整備基本計画策定業務

観光サイン提案カード

サインNo. IN025	コース 筑前岩屋駅周辺散策ルート 「岩屋修験者の道と竹の棚田めぐりコース」
サイン形態  誘導 S 片・両  誘導 M 片・両  施設誘導 片・両  施設名称 M 片・両  施設名称 L 片・両  モニュメント型  解説 S  解説 M  解説 L  マップ L  既存サイン 改修	サイン内容 ☒ 行き先名称 ☐ 距離 ☒ 矢印 ☐ 施設名称 ☐ 解説文章 ☐ 図版・写真 ☐ 地図
設置希望位置概要 	設置希望位置詳細 
設置希望位置写真	

調査日：

令和5年度東峰村観光サイン整備基本計画策定業務

観光サイン提案カード

サインNo. IN026	コース 筑前岩屋駅周辺散策ルート 「岩屋修験者の道と竹の棚田めぐりコース」
サイン形態 誘導 S 片・両 誘導 M 片・両 施設誘導 片・両 施設名称 M 片・両 施設名称 L 片・両 モニュメント型 解説 S 解説 M 解説 L マップ L 既存サイン 改修	サイン内容 ☒ 行き先名称 ☒ 距離 ☒ 矢印 ☐ 施設名称 ☐ 解説文章 ☐ 図版・写真 ☐ 地図
設置希望位置概要 	設置希望位置詳細 
設置希望位置写真	

調査日：

令和5年度東峰村観光サイン整備基本計画策定業務

筑前岩屋駅周辺散策ルート
「めがね橋めぐりダウンヒルコース」

対象：小学生以上～大人 *下り専用ツーリングの場合、レンタルサイクルは回収が必要
BIKE サイクリング・徒歩散策
推奨：レンタルサイクルまたは徒歩
距離：筑前岩屋駅⇄各橋梁アプローチ込み⇄大行司駅 4.5Km
筑前岩屋駅→大行司駅 4.3Km



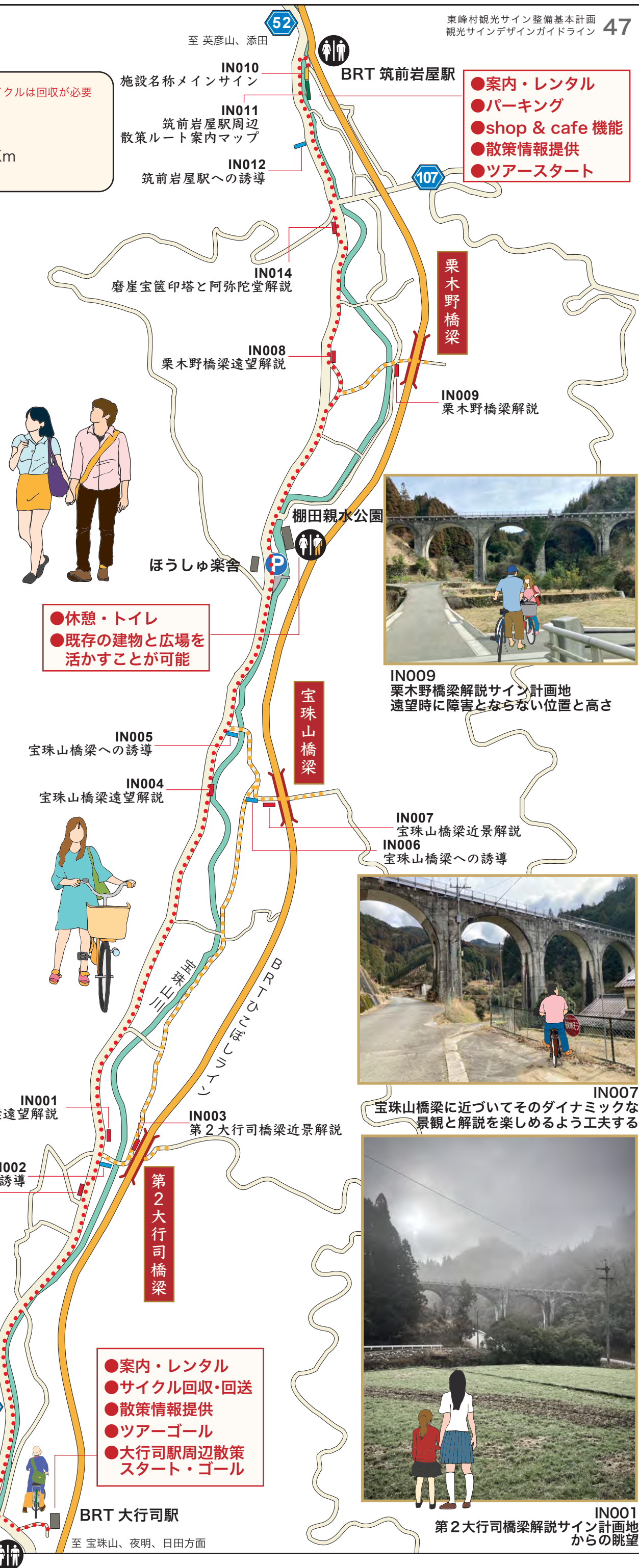
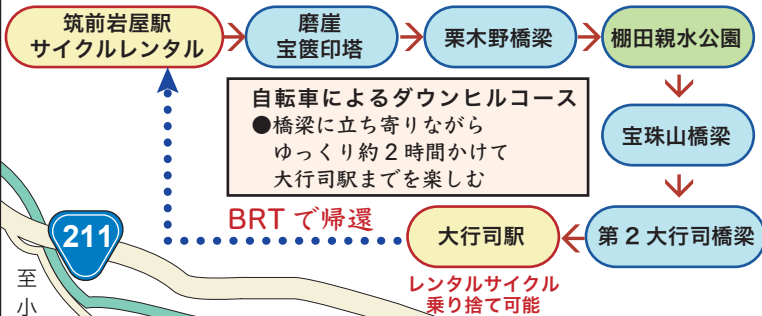
【散策ルート凡例】

- 自転車等散策ルート
- コンクリートアーチ橋アプローチコース

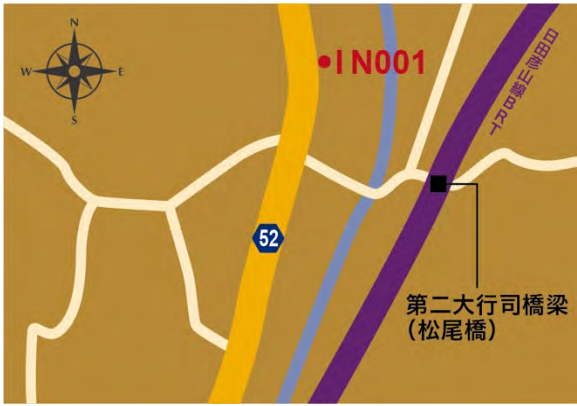


IN007 既存歴史探訪サイン
要改修
鳥岳城(舞鶴城)跡と出城跡解説

【モデルルート】 *自転車によるダウンヒル専用のルート例



観光サイン提案カード

サインNo. IN001	コース 筑前岩屋駅周辺散策ルート 「めがね橋めぐりダウンヒルコース」
サイン形態 誘導 S 片・両 誘導 M 片・両 施設誘導 片・両 施設名称M 片・両 施設名称L 片・両 モニュメント型 解説 S 解説M 解説 L マップ L 既存サイン 改修	サイン内容 ☐ 行き先名称 ☐ 距離 ☐ 矢印 ☒ 施設名称 ☒ 解説文章 ☐ 図版・写真 ☒ 地図
設置希望位置概要 	設置希望位置詳細 
設置希望位置写真 	

調査日： 2024年2月8日

令和5年度東峰村観光サイン整備基本計画策定業務

観光サイン提案カード

サインNo. IN002	コース 筑前岩屋駅周辺散策ルート 「めがね橋めぐりダウンヒルコース」
サイン形態 誘導 S 片・両 両 誘導 M 片・両 施設誘導 片・両 施設名称M 片・両 施設名称L 片・両 モニュメント型 解説 S 解説M 解説 L マップ L 既存サイン 改修	サイン内容 ☒ 行き先名称 ☐ 距離 ☒ 矢印 ☐ 施設名称 ☐ 解説文章 ☐ 図版・写真 ☐ 地図
設置希望位置概要 	設置希望位置詳細 
設置希望位置写真 	

調査日： 2024年2月8日

令和5年度東峰村観光サイン整備基本計画策定業務

観光サイン提案カード

サインNo. IN003	コース 筑前岩屋駅周辺散策ルート 「めがね橋めぐりダウンヒルコース」
サイン形態 誘導 S 片・両 誘導 M 片・両 施設誘導 片・両 施設名称M 片・両 施設名称L 片・両 モニュメント型 解説 S 解説M 解説 L マップ L 既存サイン 改修	サイン内容 ☐ 行き先名称 ☐ 距離 ☐ 矢印 ☒ 施設名称 ☒ 解説文章 ☐ 図版・写真 ☒ 地図
設置希望位置概要  IN003 52 第二大行司橋梁 (松尾橋)	設置希望位置詳細  ←至 県道52号 第二大行司橋梁 (松尾橋)
設置希望位置写真 	

調査日： 2024年2月8日

令和5年度東峰村観光サイン整備基本計画策定業務

観光サイン提案カード

サインNo. IN004	コース 筑前岩屋駅周辺散策ルート 「めがね橋めぐりダウンヒルコース」
サイン形態 誘導 S 片・両 誘導 M 片・両 施設誘導 片・両 施設名称 M 片・両 施設名称 L 片・両 モニュメント型 解説 S 解説 M 解説 L マップ L 既存サイン 改修	サイン内容 ☐ 行き先名称 ☐ 距離 ☐ 矢印 ☒ 施設名称 ☒ 解説文章 ☐ 図版・写真 ☒ 地図
設置希望位置概要	設置希望位置詳細
設置希望位置写真	

観光サイン提案カード

サインNo. IN005	コース 筑前岩屋駅周辺散策ルート 「めがね橋めぐりダウンヒルコース」
サイン形態 誘導 S 片・両 誘導 M 片・両 施設誘導 片・両 施設名称 M 片・両 施設名称 L 片・両 モニュメント型 解説 S 解説 M 解説 L マップ L 既存サイン 改修	サイン内容 ☒ 行き先名称 ☐ 距離 ☒ 矢印 ☐ 施設名称 ☐ 解説文章 ☐ 図版・写真 ☐ 地図
設置希望位置概要	設置希望位置詳細
設置希望位置写真	

観光サイン提案カード

サインNo. IN006	コース 筑前岩屋駅周辺散策ルート 「めがね橋めぐりダウンヒルコース」
サイン形態 誘導 S 片・両 誘導 M 片・両 施設誘導 片・両 施設名称M 片・両 施設名称L 片・両 モニュメント型 解説 S 解説M 解説L マップL 既存サイン 改修	サイン内容 ☒ 行き先名称 ☐ 距離 ☒ 矢印 ☐ 施設名称 ☐ 解説文章 ☐ 図版・写真 ☐ 地図
設置希望位置概要 	設置希望位置詳細 
設置希望位置写真 	

調査日： 2024年2月8日

令和5年度東峰村観光サイン整備基本計画策定業務

観光サイン提案カード

サインNo. IN007	コース 筑前岩屋駅周辺散策ルート 「めがね橋めぐりダウンヒルコース」
サイン形態 誘導 S 片・両 誘導 M 片・両 施設誘導 片・両 施設名称 M 片・両 施設名称 L 片・両 モニュメント型 解説 S 解説 M 解説 L マップ L 既存サイン 改修	サイン内容 ☐ 行き先名称 ☐ 距離 ☐ 矢印 ☒ 施設名称 ☒ 解説文章 ☐ 図版・写真 ☒ 地図
設置希望位置概要	設置希望位置詳細
設置希望位置写真	

観光サイン提案カード

サインNo. IN008	コース 筑前岩屋駅周辺散策ルート 「めがね橋めぐりダウンヒルコース」
サイン形態 誘導 S 片・両 ☒ 誘導 M 片・両 施設誘導 片・両 施設名称M 片・両 施設名称L 片・両 モニュメント型 解説 S 解説M ☒ 解説 L マップ L 既存サイン 改修	サイン内容 ☐ 行き先名称 ☐ 距離 ☐ 矢印 ☒ 施設名称 ☒ 解説文章 ☒ 図版・写真 ☒ 地図
設置希望位置概要 	設置希望位置詳細 
設置希望位置写真 	

調査日： 2024年2月8日

令和5年度東峰村観光サイン整備基本計画策定業務

観光サイン提案カード

サインNo. IN009	コース 筑前岩屋駅周辺散策ルート 「めがね橋めぐりダウンヒルコース」
サイン形態 誘導 S 片・両 誘導 M 片・両 施設誘導 片・両 施設名称 M 片・両 施設名称 L 片・両 モニュメント型 解説 S 解説 M 解説 L マップ L 既存サイン 改修	サイン内容 ☐ 行き先名称 ☐ 距離 ☐ 矢印 ☒ 施設名称 ☒ 解説文章 ☐ 図版・写真 ☒ 地図
設置希望位置概要	設置希望位置詳細
設置希望位置写真	

観光サイン提案カード

サインNo. IN010	コース 筑前岩屋駅周辺散策ルート 「めがね橋めぐりダウンヒルコース」
サイン形態 誘導 S 片・両 誘導 M 片・両 施設誘導 片・両 施設名称 M 片・両 施設名称 L 片・両 モニュメント型 解説 S 解説 M 解説 L マップ L 既存サイン 改修	サイン内容 ☐ 行き先名称 ☐ 距離 ☐ 矢印 ☒ 施設名称 ☐ 解説文章 ☐ 図版・写真 ☐ 地図
設置希望位置概要	設置希望位置詳細
設置希望位置写真	

観光サイン提案カード

サインNo. IN011 (I041の隣)	コース 筑前岩屋駅周辺散策ルート 「めがね橋めぐりダウンヒルコース」
サイン形態 誘導 S 片・両 誘導 M 片・両 施設誘導 片・両 施設名称 M 片・両 施設名称 L 片・両 モニュメント型 解説 S 解説 M 解説 L マップ L 既存サイン 改修	サイン内容 ☐ 行き先名称 ☐ 距離 ☐ 矢印 ☐ 施設名称 ☒ 解説文章 ☐ 図版・写真 ☒ 地図
設置希望位置概要	設置希望位置詳細
設置希望位置写真	

調査日： 2024年2月8日

令和5年度東峰村観光サイン整備基本計画策定業務

観光サイン提案カード

サインNo. IN012	コース 筑前岩屋駅周辺散策ルート 「めがね橋めぐりダウンヒルコース」
サイン形態 誘導 S 片・両 誘導 M 片・両 施設誘導 片・両 施設名称 M 片・両 施設名称 L 片・両 モニュメント型 解説 S 解説 M 解説 L マップ L 既存サイン 改修	サイン内容 ☒ 行き先名称 ☒ 距離 ☒ 矢印 ☒ 施設名称 ☐ 解説文章 ☐ 図版・写真 ☐ 地図
設置希望位置概要	設置希望位置詳細
設置希望位置写真	

観光サイン提案カード

サインNo. IN014	コース 筑前岩屋駅周辺散策ルート 「めがね橋めぐりダウンヒルコース」
サイン形態 誘導 S 片・両 誘導 M 片・両 施設誘導 片・両 施設名称M 片・両 施設名称L 片・両 モニュメント型 解説 S 解説M 解説 L マップ L 既存サイン 改修	サイン内容 ☐ 行き先名称 ☐ 距離 ☐ 矢印 ☐ 施設名称 ☒ 解説文章 ☒ 図版・写真 ☐ 地図
設置希望位置概要	設置希望位置詳細
設置希望位置写真	

調査日：

令和5年度東峰村観光サイン整備基本計画策定業務

大行司駅周辺散策ルート
「炭鉱王伊藤伝右衛門の足跡と伝統の蔵めぐりコース」



- 案内・レンタル
- サイクル回収・回送
- 散策情報提供
- 大行司駅周辺散策スタート・ゴール
- 筑前岩屋からの散策ゴール
- 宝珠山駅への散策スタート



宝珠山炭坑第1坑



高木神社本殿



【散策ルート凡例】

- 炭鉱王伊藤伝右衛門の足跡コース
- オプション蔵めぐりコース

対象：小学生以上～大人
徒歩散策・POWERED BIKE サイクリング
推奨：レンタル電動サイクルまたは徒歩
距離：大行司駅⇄高木神社⇄いぶき館⇄宝珠山炭鉱坑口⇄大行司駅 約 1.2Km
＊蔵めぐりオプションコース込みで約 1.5Km



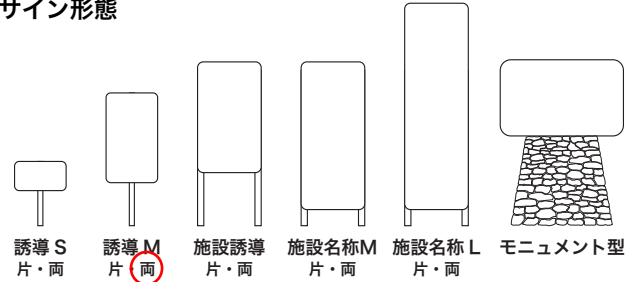
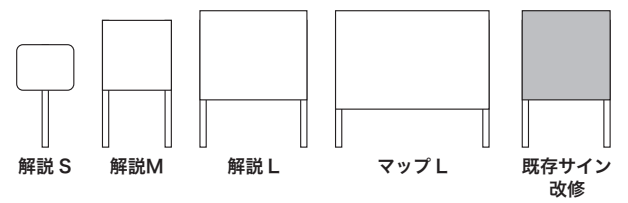
高岡酒造旧蔵 ＊現在は未公開



北山神社 戸

BRT 大行司駅

観光サイン提案カード

サインNo. HN017	コース 大行司駅周辺散策ルート 「炭鉱王伊藤伝右衛門の足跡と伝統の蔵めぐりコース」
サイン形態  誘導 S 片・両 誘導 M 片・両 施設誘導 片・両 施設名称 M 片・両 施設名称 L 片・両 モニュメント型  解説 S 解説 M 解説 L マップ L 既存サイン改修	サイン内容 ☒ 行き先名称 ☐ 距離 ☒ 矢印 ☐ 施設名称 ☐ 解説文章 ☐ 図版・写真 ☐ 地図
設置希望位置概要 	設置希望位置詳細 
設置希望位置写真  	

調査日： 2024年2月7日

令和5年度東峰村観光サイン整備基本計画策定業務

観光サイン提案カード

サインNo. HN018	コース 大行司駅周辺散策ルート 「炭鉱王伊藤伝右衛門の足跡と伝統の蔵めぐりコース」
サイン形態 誘導 S 片・両 誘導 M 片・両 施設誘導 片・両 施設名称 M 片・両 施設名称 L 片・両 モニュメント型 解説 S 解説 M 解説 L マップ L 既存サイン 改修	サイン内容 ☐ 行き先名称 ☐ 距離 ☐ 矢印 ☒ 施設名称 ☐ 解説文章 ☐ 図版・写真 ☒ 地図
設置希望位置概要	設置希望位置詳細
設置希望位置写真	

観光サイン提案カード

サインNo. HN019	コース 大行司駅周辺散策ルート 「炭鉱王伊藤伝右衛門の足跡と伝統の蔵めぐりコース」
サイン形態 誘導 S 片・両 誘導 M 片・両 施設誘導 片・両 施設名称 M 片・両 施設名称 L 片・両 モニュメント型 解説 S 解説 M 解説 L マップ L 既存サイン 改修	サイン内容 ☐ 行き先名称 ☐ 距離 ☐ 矢印 ☒ 施設名称 ☐ 解説文章 ☐ 図版・写真 ☐ 地図
設置希望位置概要 	設置希望位置詳細 
設置希望位置写真 	

調査日： 2024年2月7日

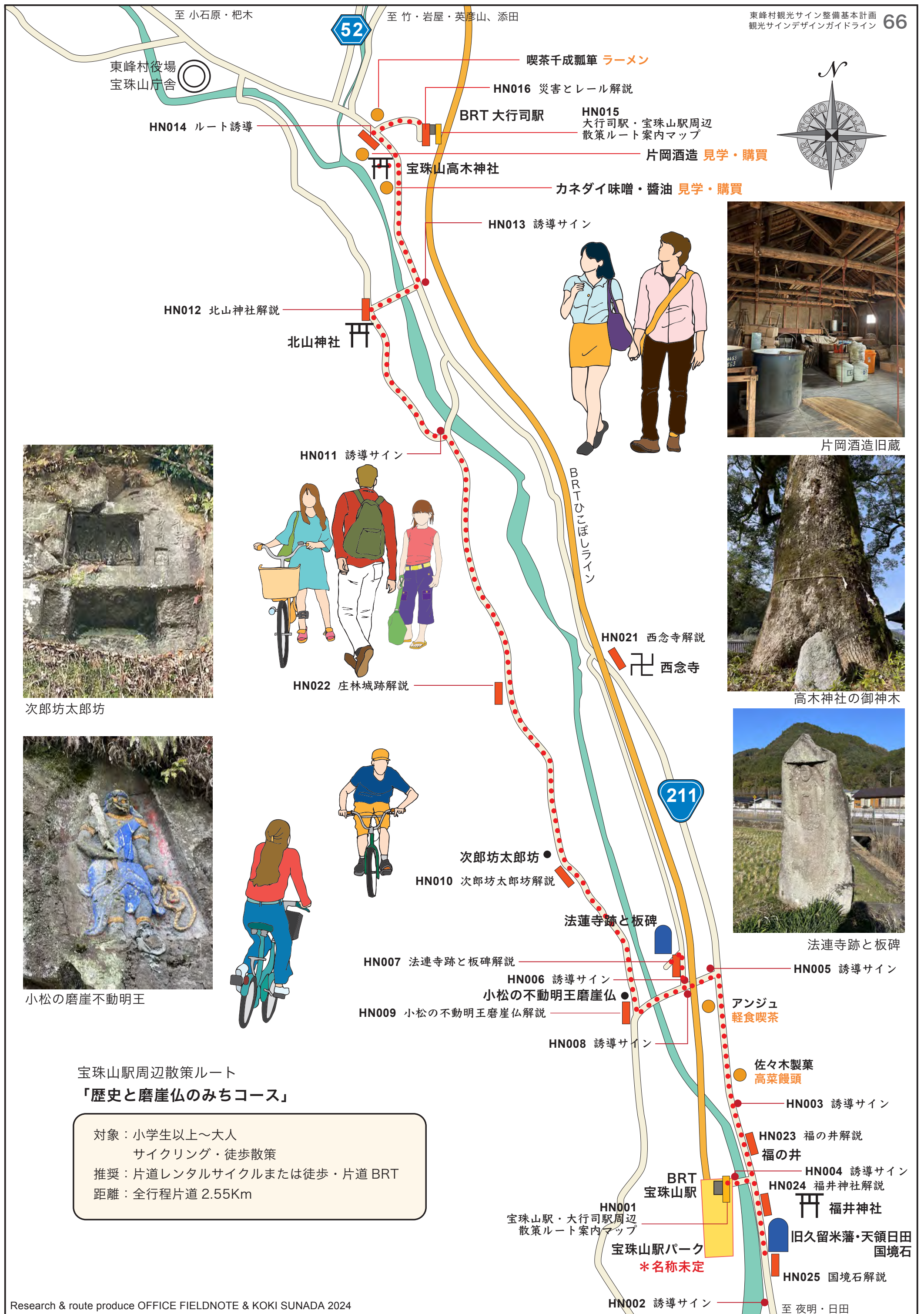
令和5年度東峰村観光サイン整備基本計画策定業務

観光サイン提案カード

サインNo. HN020	コース 大行司駅周辺散策ルート 「炭鉱王伊藤伝右衛門の足跡と伝統の蔵めぐりコース」
サイン形態  誘導 S 片・両  誘導 M 片・両  施設誘導 片・両  施設名称 M 片・両  施設名称 L 片・両  モニュメント型  解説 S  解説 M  解説 L  マップ L  既存サイン改修	サイン内容 ☐ 行き先名称 ☐ 距離 ☐ 矢印 ☒ 施設名称 ☐ 解説文章 ☐ 図版・写真 ☐ 地図
設置希望位置概要 	設置希望位置詳細 
設置希望位置写真 	

調査日： 2024年2月7日

令和5年度東峰村観光サイン整備基本計画策定業務



観光サイン提案カード

サインNo. HN001	コース 宝珠山駅周辺散策ルート 「歴史と磨崖仏のみちコース」
サイン形態 誘導 S 片・両 誘導 M 片・両 施設誘導 片・両 施設名称M 片・両 施設名称L 片・両 モニュメント型 解説 S 解説M 解説 L マップ L 既存サイン改修	サイン内容 ☐ 行き先名称 ☐ 距離 ☐ 矢印 ☒ 施設名称 ☒ 解説文章 ☒ 図版・写真 ☐ 地図
設置希望位置概要	設置希望位置詳細
設置希望位置写真	

観光サイン提案カード

サインNo. HN002	コース 宝珠山駅周辺散策ルート 「歴史と磨崖仏のみちコース」
サイン形態 誘導 S 片・両 誘導 M 片・両 施設誘導 片・両 施設名称 M 片・両 施設名称 L 片・両 モニュメント型 解説 S 解説 M 解説 L マップ L 既存サイン 改修	サイン内容 ☐ 行き先名称 ☒ 距離 ☒ 矢印 ☒ 施設名称 ☐ 解説文章 ☐ 図版・写真 ☐ 地図
設置希望位置概要 	設置希望位置詳細 
設置希望位置写真 	

調査日： 2024年2月6日

令和5年度東峰村観光サイン整備基本計画策定業務

観光サイン提案カード

サインNo. HN003	コース 宝珠山駅周辺散策ルート 「歴史と磨崖仏のみちコース」
サイン形態 誘導 S 片・両 誘導 M 片・両 施設誘導 片・両 施設名称M 片・両 施設名称L 片・両 モニュメント型 解説 S 解説M 解説 L マップ L 既存サイン改修	サイン内容 ☐ 行き先名称 ☒ 距離 ☒ 矢印 ☒ 施設名称 ☐ 解説文章 ☐ 図版・写真 ☐ 地図
設置希望位置概要 	設置希望位置詳細 
設置希望位置写真  	

調査日： 2024年2月6日

令和5年度東峰村観光サイン整備基本計画策定業務

観光サイン提案カード

サインNo. HN004	コース 宝珠山駅周辺散策ルート 「歴史と磨崖仏のみちコース」
サイン形態 誘導 S 片・両 誘導 M 片・両 施設誘導 片・両 施設名称 M 片・両 施設名称 L 片・両 モニュメント型 解説 S 解説 M 解説 L マップ L 既存サイン 改修	サイン内容 ☒ 行き先名称 ☐ 距離 ☒ 矢印 ☐ 施設名称 ☐ 解説文章 ☐ 図版・写真 ☐ 地図
設置希望位置概要 	設置希望位置詳細 
設置希望位置写真 	

観光サイン提案カード

サインNo. HN005	コース 宝珠山駅周辺散策ルート 「歴史と磨崖仏のみちコース」
サイン形態 誘導 S 片・両 (L型) 誘導 M 片・両 施設誘導 片・両 施設名称 M 片・両 施設名称 L 片・両 モニュメント型 解説 S 解説 M 解説 L マップ L 既存サイン 改修	サイン内容 ☒ 行き先名称 ☐ 距離 ☒ 矢印 ☐ 施設名称 ☐ 解説文章 ☐ 図版・写真 ☐ 地図
設置希望位置概要	設置希望位置詳細
設置希望位置写真	

観光サイン提案カード

サインNo. HN006	コース 宝珠山駅周辺散策ルート 「歴史と磨崖仏のみちコース」
サイン形態 誘導 S 片・両 誘導 M 片・両 施設誘導 片・両 施設名称 M 片・両 施設名称 L 片・両 モニュメント型 解説 S 解説 M 解説 L マップ L 既存サイン 改修	サイン内容 ☒ 行き先名称 ☐ 距離 ☒ 矢印 ☐ 施設名称 ☐ 解説文章 ☐ 図版・写真 ☐ 地図
設置希望位置概要	設置希望位置詳細
設置希望位置写真	

調査日： 2024年2月7日

令和5年度東峰村観光サイン整備基本計画策定業務

観光サイン提案カード

サインNo. HN007	コース 宝珠山駅周辺散策ルート 「歴史と磨崖仏のみちコース」
サイン形態  誘導 S 片・両  誘導 M 片・両  施設誘導 片・両  施設名称 M 片・両  施設名称 L 片・両  モニュメント型  解説 S  解説 M  解説 L  マップ L  既存サイン改修	サイン内容 ☒ 行き先名称 ☐ 距離 ☐ 矢印 ☒ 施設名称 ☐ 解説文章 ☐ 図版・写真 ☐ 地図
設置希望位置概要 	設置希望位置詳細 
設置希望位置写真 	

観光サイン提案カード

サインNo. HN008	コース 宝珠山駅周辺散策ルート 「歴史と磨崖仏のみちコース」
サイン形態  誘導 S 片・両  誘導 M 片・両  施設誘導 片・両  施設名称 M 片・両  施設名称 L 片・両  モニュメント型  解説 S  解説 M  解説 L  マップ L  既存サイン改修	サイン内容 ☒ 行き先名称 ☐ 距離 ☒ 矢印 ☐ 施設名称 ☐ 解説文章 ☐ 図版・写真 ☐ 地図
設置希望位置概要 	設置希望位置詳細 
設置希望位置写真 	

調査日： 2024年2月7日

令和5年度東峰村観光サイン整備基本計画策定業務

観光サイン提案カード

サインNo. HN009	コース 宝珠山駅周辺散策ルート 「歴史と磨崖仏のみちコース」
サイン形態 誘導 S 片・両 (L型) 誘導 M 片・両 施設誘導 片・両 施設名称 M 片・両 施設名称 L 片・両 モニュメント型 解説 S 解説 M 解説 L マップ L 既存サイン 改修	サイン内容 ☒ 行き先名称 ☐ 距離 ☒ 矢印 ☐ 施設名称 ☐ 解説文章 ☐ 図版・写真 ☐ 地図
設置希望位置概要	設置希望位置詳細
設置希望位置写真	

観光サイン提案カード

サインNo. HN010	コース 宝珠山駅周辺散策ルート 「歴史と磨崖仏のみちコース」
サイン形態 誘導 S 片・両 誘導 M 片・両 施設誘導 片・両 施設名称 M 片・両 施設名称 L 片・両 モニュメント型 解説 S 解説 M 解説 L マップ L 既存サイン 改修	サイン内容 ☒ 行き先名称 【備考】 ☐ 距離 ・既存H042の隣 ☒ 矢印 ☐ 施設名称 ☐ 解説文章 ☐ 図版・写真 ☒ 地図
設置希望位置概要 	設置希望位置詳細 
設置希望位置写真 	

調査日： 2024年2月7日

令和5年度東峰村観光サイン整備基本計画策定業務

観光サイン提案カード

サインNo. HN011	コース 宝珠山駅周辺散策ルート 「歴史と磨崖仏のみちコース」
サイン形態 誘導 S 片・両 (L型) 誘導 M 片・両 施設誘導 片・両 施設名称 M 片・両 施設名称 L 片・両 モニュメント型 解説 S 解説 M 解説 L マップ L 既存サイン 改修	サイン内容 ☒ 行き先名称 ☐ 距離 ☒ 矢印 ☐ 施設名称 ☐ 解説文章 ☐ 図版・写真 ☐ 地図
設置希望位置概要	設置希望位置詳細
設置希望位置写真	

観光サイン提案カード

サインNo. HN012	コース 宝珠山駅周辺散策ルート 「歴史と磨崖仏のみちコース」
サイン形態 誘導 S 片・両 ☒ 誘導 M 片・両 施設誘導 片・両 施設名称 M 片・両 施設名称 L 片・両 モニュメント型 解説 S 解説 M ☒ 解説 L マップ L 既存サイン改修	サイン内容 ☒ 行き先名称 ☐ 距離 ☒ 矢印 ☐ 施設名称 ☒ 解説文章 ☐ 図版・写真 ☒ 地図
設置希望位置概要 	設置希望位置詳細 
設置希望位置写真 	

調査日： 2024年2月7日

令和5年度東峰村観光サイン整備基本計画策定業務

観光サイン提案カード

サインNo. HN013	コース 宝珠山駅周辺散策ルート 「歴史と磨崖仏のみちコース」
サイン形態 誘導 S 片・両 (ポール直結L型) 誘導 M 片・両 施設誘導 片・両 施設名称 M 片・両 施設名称 L 片・両 モニュメント型 解説 S 解説 M 解説 L マップ L 既存サイン 改修	サイン内容 ☒ 行き先名称 ☐ 距離 ☒ 矢印 ☐ 施設名称 ☐ 解説文章 ☐ 図版・写真 ☐ 地図
設置希望位置概要	設置希望位置詳細
設置希望位置写真	

調査日： 2024年2月7日

令和5年度東峰村観光サイン整備基本計画策定業務

観光サイン提案カード

サインNo. HN014	コース 宝珠山駅周辺散策ルート 「歴史と磨崖仏のみちコース」
サイン形態 誘導 S 片・両 誘導 M 片・両 (コの字型) 施設誘導 片・両 施設名称 M 片・両 施設名称 L 片・両 モニュメント型 解説 S 解説 M 解説 L マップ L 既存サイン 改修	サイン内容 ☒ 行き先名称 ☐ 距離 ☒ 矢印 ☐ 施設名称 ☐ 解説文章 ☐ 図版・写真 ☐ 地図
設置希望位置概要	設置希望位置詳細
設置希望位置写真	

観光サイン提案カード

サインNo. HN015	コース 宝珠山駅周辺散策ルート 「歴史と磨崖仏のみちコース」
サイン形態 誘導 S 片・両 誘導 M 片・両 施設誘導 片・両 施設名称 M 片・両 施設名称 L 片・両 モニュメント型 解説 S 解説 M 解説 L マップ L 既存サイン 改修	サイン内容 ☐ 行き先名称 ☐ 距離 ☐ 矢印 ☐ 施設名称 ☐ 解説文章 ☐ 図版・写真 ☒ 地図
設置希望位置概要	設置希望位置詳細
設置希望位置写真	

調査日： 2024年2月7日

令和5年度東峰村観光サイン整備基本計画策定業務

観光サイン提案カード

サインNo. HN016	コース 宝珠山駅周辺散策ルート 「歴史と磨崖仏のみちコース」
サイン形態 誘導 S 片・両 誘導 M 片・両 施設誘導 片・両 施設名称 M 片・両 施設名称 L 片・両 モニュメント型 解説 S 解説 M 解説 L マップ L 既存サイン 改修	サイン内容 ☐ 行き先名称 【備考】 ☐ 距離 ・既存H036は撤去 ☐ 矢印 ☐ 施設名称 ☒ 解説文章 ☒ 図版・写真 ☐ 地図
設置希望位置概要	設置希望位置詳細
設置希望位置写真	

観光サイン提案カード

サインNo. HN021 (H047)	コース 宝珠山駅周辺散策ルート 「歴史と磨崖仏のみちコース」
サイン形態 誘導 S 片・両 誘導 M 片・両 施設誘導 片・両 施設名称 M 片・両 施設名称 L 片・両 モニュメント型 解説 S 解説 M 解説 L マップ L 既存サイン 改修	サイン内容 ☐ 行き先名称 【備考】 ☐ 距離 ・既存H047を改修 ☐ 矢印 ☐ 施設名称 ☐ 解説文章 ☒ 図版・写真 ☒ 地図
設置希望位置概要	設置希望位置詳細
設置希望位置写真	

調査日：

令和5年度東峰村観光サイン整備基本計画策定業務

観光サイン提案カード

サインNo. HN022 (H041)	コース 宝珠山駅周辺散策ルート 「歴史と磨崖仏のみちコース」
サイン形態 誘導 S 片・両 誘導 M 片・両 施設誘導 片・両 施設名称 M 片・両 施設名称 L 片・両 モニュメント型 解説 S 解説 M 解説 L マップ L 既存サイン 改修	サイン内容 ☐ 行き先名称 【備考】 ☐ 距離 ・ 既存H041を改修 ☐ 矢印 ☐ 施設名称 ☒ 解説文章 ☒ 図版・写真 ☒ 地図
設置希望位置概要	設置希望位置詳細
設置希望位置写真	

調査日：

令和5年度東峰村観光サイン整備基本計画策定業務

観光サイン提案カード

サインNo. HN023 (H053)	コース 宝珠山駅周辺散策ルート 「歴史と磨崖仏のみちコース」
サイン形態 誘導 S 片・両 誘導 M 片・両 施設誘導 片・両 施設名称 M 片・両 施設名称 L 片・両 モニュメント型 解説 S 解説 M 解説 L マップ L 既存サイン 改修	サイン内容 ☐ 行き先名称 【備考】 ☐ 距離 ・既存H053を改修 ☐ 矢印 ☐ 施設名称 ☒ 解説文章 ☐ 図版・写真 ☒ 地図
設置希望位置概要	設置希望位置詳細
設置希望位置写真	

調査日：

令和5年度東峰村観光サイン整備基本計画策定業務

観光サイン提案カード

サインNo. HN024 (H054)	コース 宝珠山駅周辺散策ルート 「歴史と磨崖仏のみちコース」
サイン形態 誘導 S 片・両 誘導 M 片・両 施設誘導 片・両 施設名称M 片・両 施設名称 L 片・両 モニュメント型 解説 S 解説M 解説 L マップ L 既存サイン 改修	サイン内容 ☐ 行き先名称 【備考】 ☐ 距離 ・既存H054を改修 ☐ 矢印 ☒ 施設名称 ☒ 解説文章 ☒ 図版・写真 ☒ 地図
設置希望位置概要 	設置希望位置詳細 
設置希望位置写真	

調査日：

令和5年度東峰村観光サイン整備基本計画策定業務

観光サイン提案カード

サインNo. HN025 (H055)	コース 宝珠山駅周辺散策ルート 「歴史と磨崖仏のみちコース」
サイン形態 誘導 S 片・両 誘導 M 片・両 施設誘導 片・両 施設名称M 片・両 施設名称L 片・両 モニュメント型 解説 S 解説M 解説 L マップ L 既存サイン 改修	サイン内容 ☐ 行き先名称 【備考】 ☐ 距離 ・既存H055を改修 ☐ 矢印 ☐ 施設名称 ☒ 解説文章 ☐ 図版・写真 ☒ 地図
設置希望位置概要 	設置希望位置詳細 
設置希望位置写真	

調査日：

令和5年度東峰村観光サイン整備基本計画策定業務

宝珠山駅周辺散策ルート サイン計画
「歴史と磨崖仏のみちコース」

【新規製作設置例】

HN001 種別：全体案内地図
設置場所：宝珠山駅舎内

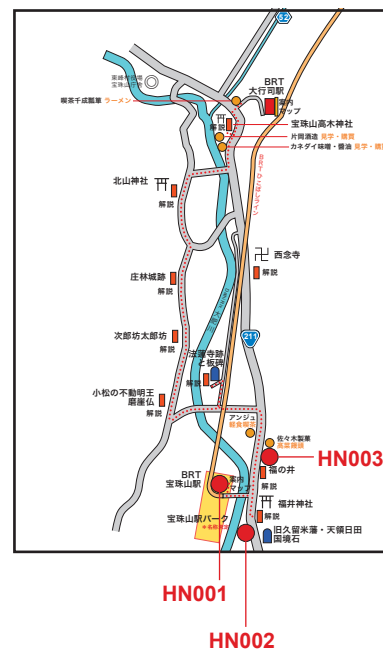
■サイン機能

BRT 宝珠山駅で、周辺散策についてのルート情報を得るための案内地図。外国語（英語）対応。

製作方法：板面のみ新作、壁面新設
材質：アルミ複合板＋シート出力

S=1/20



宝珠山駅周辺散策ルート サイン計画
「歴史と磨崖仏のみちコース」

【新規製作設置例】

■サイン機能

国道211号を走行する走行車両（自動車）から視認できる
施設誘導サイン ＊200m 先右左折予告

HN002 種別：誘導サイン
設置場所：国道211号路側
製作方法：板面、脚とも新設
材質：鋼製支持脚、アルミ板+シート出力



HN003 種別：誘導サイン
設置場所：国道211号路側
製作方法：板面、脚とも新設
材質：鋼製支持脚、アルミ板+シート出力



宝珠山駅周辺散策ルート サイン計画
「歴史と磨崖仏のみちコース」

【新規製作設置例】

■サイン機能

宝珠山駅周辺散策ルートを自転車または徒歩で散策する方の誘導サイン。サイズは徒歩、自転車利用者向けの小型のもの。HN004 の設置位置は宝珠山駅前、橋の手前であり、国道に出てからの左右行き先へ誘導している。



HN004 種別：誘導サイン
設置場所：駅前広場



S=1/10



板面表記拡大

製作方法：板面、脚とも新設
材質：鋼製支持脚、アルミ板＋シート出力

4. 東峰村観光サイン設置の方向性 ～つづき

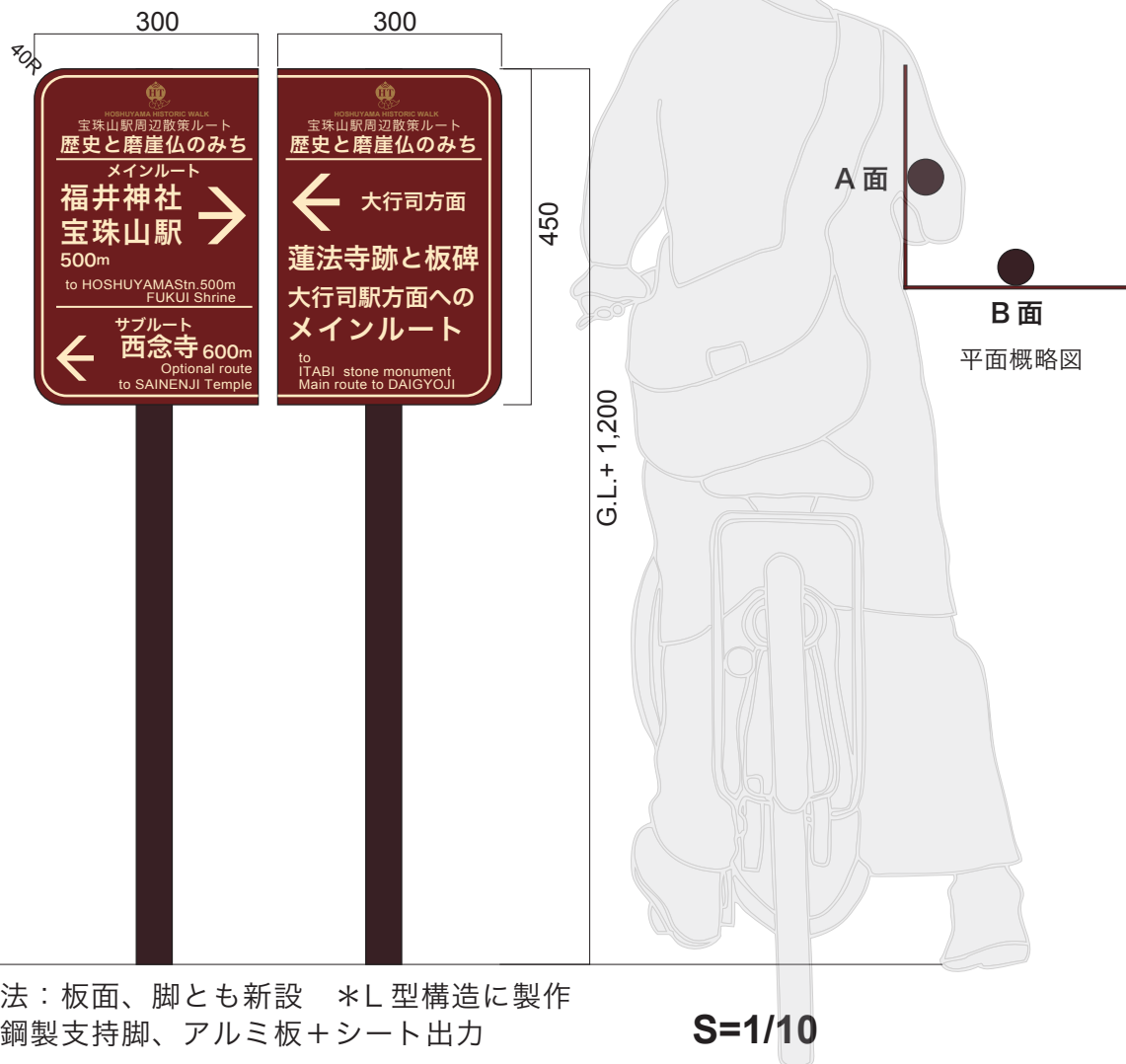
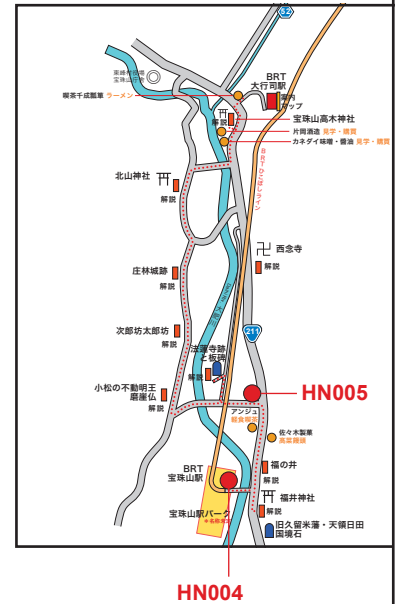
宝珠山駅周辺散策ルート サイン計画 「歴史と磨崖仏のみちコース」

【新規製作設置例】

■サイン機能

宝珠山駅周辺散策ルートを自転車または徒歩で散策する方の誘導サイン。サイズは徒歩、自転車利用者向けの小型のもの。

HN005 種別：誘導サイン
設置場所：国道 211 路側



製作方法：板面、脚とも新設 ＊L型構造に製作
材質：鋼製支持脚、アルミ板＋シート出力

4. 東峰村観光サイン設置の方向性 ～つづき

筑前岩屋駅周辺散策ルート サイン計画 「めがね橋めぐりダウンヒルコース」

【新規製作設置例】

■サイン機能

筑前岩屋駅周辺散策ルートを自転車または徒歩で散策する方の誘導サイン。サイズは徒歩、自転車利用者向けの小型のもの。



板面表記拡大

英文解説 QR コード

IN004

宝珠山橋梁遠望解説

450

IN007

宝珠山橋梁近景解説

450

IN005

宝珠山橋梁への誘導

300



300

900

S=1/10



600



450

G.L.+1,200

製作方法：鋼製柱固定
板面アルミ複合板
+ シート経師

道の駅小石原周辺散策ルート サイン計画
「小石原焼窯元めぐりと行者の森コース」

【既存サイン改修例：板面取り替え】

■サイン機能

道の駅小石原周辺散策ルートを自転車または徒歩で散策する方の誘導サイン。ただしこの既存サインは大きく、自動車での移動者からも視認性が良く、既存の柱を残して板面交換で再利用することが望ましい。

KN008

K043 を改修

種別：誘導

設置場所：皿山・産業会館分岐



K043 サインの現況 ＊汚損と本体傾斜



製作方法：板面のみ新作設置
材質：アルミ複合板＋シート経師
既存柱の傾斜修正

4. 東峰村観光サイン設置の方向性 ～つづき

筑前岩屋駅周辺散策ルート

「岩屋修験者の道と竹の棚田めぐりコース」

【新規製作設置例】

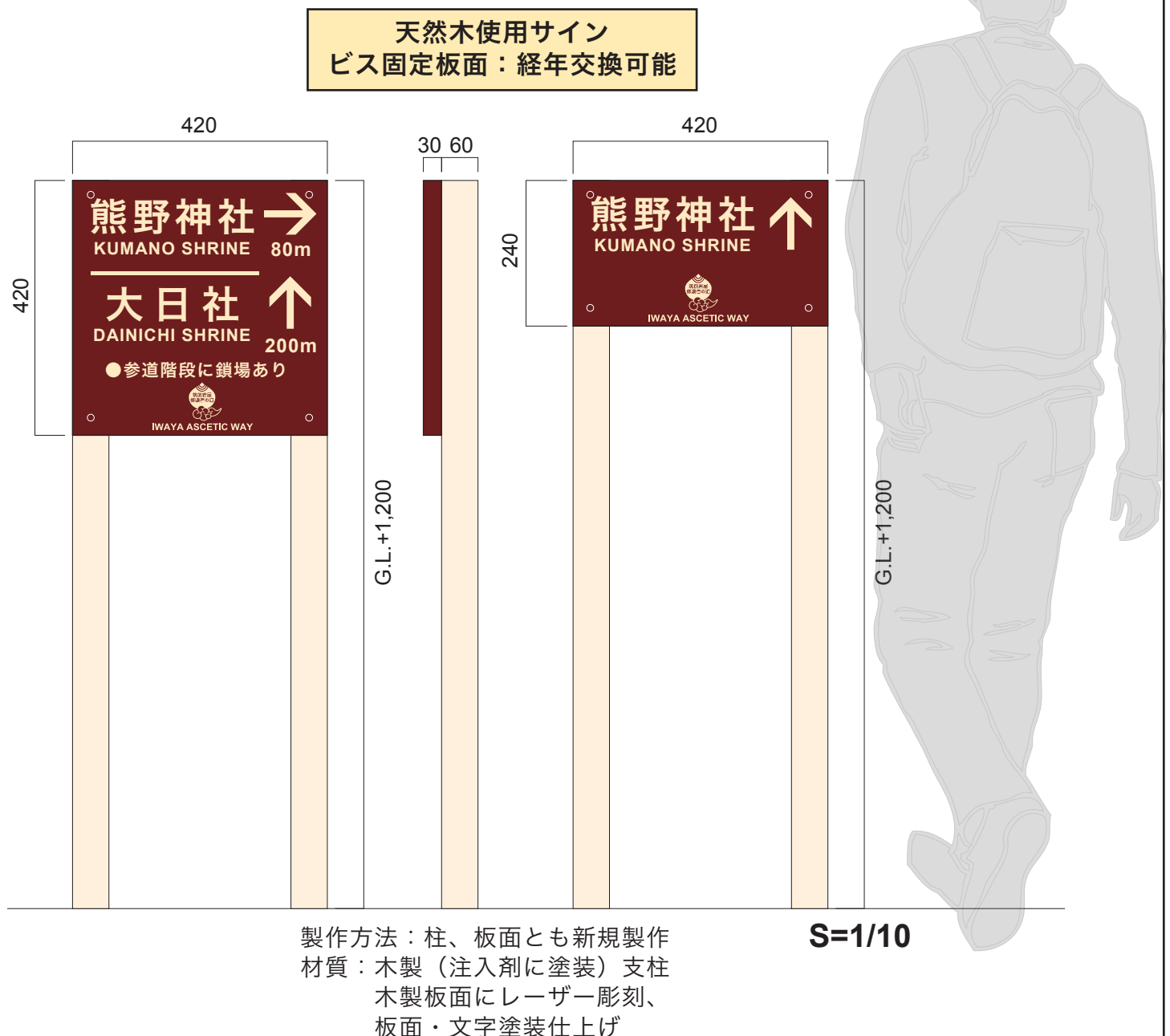
■サイン機能

筑前岩屋駅周辺散策ルートのうち、修験者の道体験コースへのセミトレッキングをガイドする案内サイン。行場の雰囲気을阻害せず、自然景観と調和する素材、デザインを採用する。

種別：誘導

設置場所：筑前岩屋修験者の道

＊岩屋神社～熊野神社～奥の院～大日社等の遊歩道



4. 東峰村観光サイン設置の方向性 ～つづき

市町村境界付近に設置する例

東峰村ウェルカムモニュメントサイン

【新規製作設置例】

■サイン機能

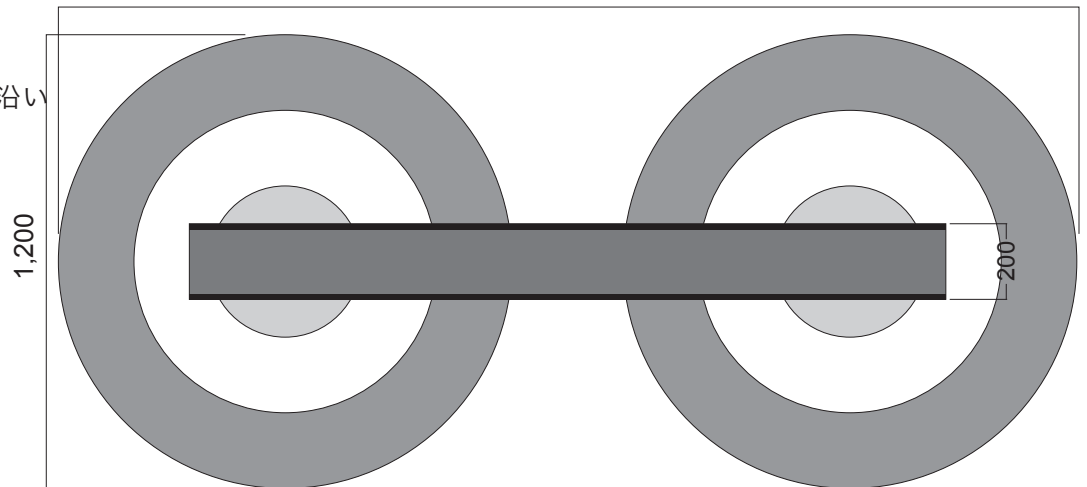
東峰村や村内の小石原地区、岩屋地区、宝珠山地区などにアプローチする幹線道路添いに新設が想定されるウェルカムサイン。

種別：ウェルカムサイン

設置場所：村境周辺の幹線沿い

【仕様】

- 基礎：コンクリート表面自然石積み
- 支柱：H鋼防蝕塗装
- 板面：表面ラス板またはボード張りの上にモルタル
- 板面仕上：陶板モザイク貼り
- 鋼製文字ピン留めまたは筐文字接着固定
- 必要に応じてLED スポット照明取付可



S=1/20

4. 東峰村観光サイン設置の方向性 〜つづき

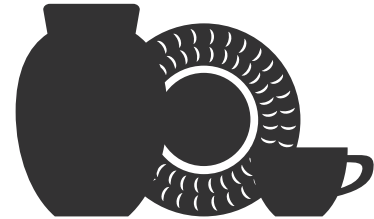
サインに使用するシンボルロゴ等

わかりやすくするためのルート名称やオリジナルピクト

オリジナルピクトでわかりやすく誘導します。それぞれのルート、コースのテーマを象徴するピクトとルート名を明解に記すことで、的確でわかりやすい誘導を目指します。



IWAYA ASCETIC WAY



小石原焼のみち

POTTERY STREET
KOISHIWARA



HOSHU GAKUSHA



**小石原焼
窯元めぐり**



HOSHUYAMA HISTORIC WALK



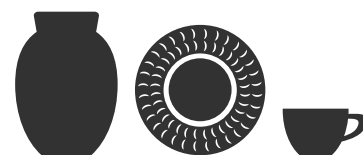
行者杉と行者の森

CEDAR FOREST
OF ASCETIC



めがね橋めぐり

ARCH BRIDGE
HERITAGE TOHO



小石原焼のみち

POTTERY STREET
KOISHIWARA



IWAYA ASCETIC WAY



HOSHUYAMA HISTORIC WALK

第2部

東峰村観光サインデザインガイドライン

【コンセプト】

感動への誘導・・・東峰村らしい素材でわかりやすく、長く使える美しいサイン

1. デザインガイドラインの概要

東峰村観光サイン計画を策定するにあたり、村の歴史文化や環境、景観、そしてツーリズムのあり方に合致したサインデザインを計画し、今後のサイン設計、製作作業に役立てます。デザインガイドラインは村内のサインをある程度統一化することで景観や環境を阻害する色彩や素材を避け、東峰村にふさわしく、地域と調和するサインを実現するための指標となります。

ガイドラインで示す事柄

- 東峰村観光サインで使用する素材やデザインの方向性を示す。
- 東峰村観光サインに採用する色彩計画を制作に即して提示する。
- 将来的に更新する観光サインデザインの汎用例を提示する。
- 設置した観光サインを持続使用できるようメンテ方法を示す。

なお、本ガイドライン内での色彩指定においては、マンセル値による色調指定ではなく、実際にサインを製作する際にすぐに役立つよう日本塗装工業会のカラーサンプルによる指定や、塩ビシートの色番号など、具体的な製作材料のカラーサンプル番号を参照資料として提示します。



*イラストはイメージです。今回提案し、今後の計画内で制作するサインデザインとは直接関係ありません。

2. 東峰村観光サインの素材と色彩

適正なコストでより多く、効果的なサインを設置するためには安価で使いやすく、持続性のある素材が求められます。また、小石原には陶磁器生産の基盤があり、サインに使用できる関連材料も入手できることから、これらを使用することで持続性のある上質なサインも製作可能です。また、村内の森林から入手できる木材もサインに応用でき、耐候性を向上させる塗装や注入剤の使用などでサインの機能向上を図ります。

簡便な素材のほかに地元で手に入る素材、景観、環境に 配慮した材料も使用する・・・カタログ製品からの脱却

東峰村には小石原焼や豊富な森林資源、そして凝灰岩に代表される岩石など独自の素材があります。これらを有効活用し、美しい自然や里の景観など、人と自然が作りあげてきた東峰村の環境に見合ったオリジナルサインを創造します。また、村内の木材加工施設の活用で将来的なメンテナンスを容易にすることも検討します。時代が求める持続可能性を実現しつつ、金属や樹脂を使ったロードサインなどと併用し、メリハリのあるサイン計画を策定します。

●陶磁器の利用

「小石原焼の里」としての小石原エリアに限らず、東峰村内全体を来村者に印象づけ、散策によってより強く「粋」や「風情」を感じることができる村に変貌させるため、サイン設置に際しては使用素材を十分に検証し、シンプルなサインでコストダウンを図りながら場所によっては特徴的な素材を採用できるよう工夫します。特に小石原焼の陶磁器片や窯道具片、そしてサイン用の陶板、磁器タイルなどを活用し、上質なサインを象徴的に設置することも考えます。

●木の利用

山に囲まれた東峰村では、スギ、ヒノキはもとより広葉樹を含む多様な樹種が集まります。こうした木材を原料とするサインは、腐朽を理由に利用されにくい側面もありますが、昨今では注入材や木材保護塗料の品質が向上し、屋外サインに使用してもこれまでより長く持続させることができます。また、文字やロゴなどの彫刻にはレーザー彫りやNCルーターなどの機材が活躍し、デザインの幅も広がってきました。東峰村観光サインではこうした木質サインを交換可能な板面によって使用します。特に岩屋の行者の道など、樹脂製のサインがそぐわない場所に有効活用することが望ましいと考えます。

【サイン素材】

材料の持つ長所短所を考えながらサインに活かします

台座・脚柱素材：

◆通常サイン

- ・鋼管（角パイプ・丸パイプ）、焼付け塗装、ビニール皮膜
- ・鋼管（角パイプ・丸パイプ）、亜鉛溶融メッキ、+焼付け塗装

◆台座硬質素材

- ・窯用耐火レンガ（トンバイ塀仕上げ：目地有り、目地なし、使用済みレンガの有効活用）
- ・窯道具（上記耐火レンガと同様な使い方）および陶器破片（商品外廃棄陶片のモザイク貼り）
- ・瓦、タイル、ガラスモザイクタイル、ガラスブロックなど
- ・打ち放しコンクリート（千鳥目立てなどの細工）
- ・コンクリート洗い出し（碎石、玉石など）
- ・自然石（丸石野面積み、花崗岩ピンコロ、凝灰岩タイル、鉄平石貼りなど）

◆木材

- ・スギ、ヒノキ、広葉樹などの板、木レンガ

板面素材：

◆通常サイン

◆陶板を利用したサイン

- ・アルミ複合板（アルポリ）+塩ビシート……セルフクリーニング・コーティング推奨

◆硬質素材

- ・骨材の上に陶片モザイク貼り、窯道具埋め込み
- ・陶板（タイル状に貼り込み）
- ・鉄、ステンレスなどの還元可能な素材を立体的に貼り込み
- ・アルミ板、アルミ複合板（表面にはフィルム貼り、立体文字貼り）

◆木材

- ・針葉樹、広葉樹無垢板（情報は塩ビシート、出力フィルム、アルミ複合板等を貼り込む）
- ・針葉樹、広葉樹無垢板に陶板貼り込み

◆文字表記（切り文字式表記）

- ・塩ビシート
- ・カルプ
- ・アクリル
- ・鋼板（焼付け塗装）ピン脚



◆木製サインの製作例

【サイン色彩】

自然との調和を図りつつ視認性が良く、美しい配色

サインに使用する色彩は、森林の多い東峰村では常緑の森の緑にあっても違和感の無い色調を選択します。サインベースには暗めのレッドブラウン系を用い、緑をバックにしても視認性を損なわぬようベージュ系を輪郭に使います。文字色はピュアホワイトではなく、地色にしっかりとなじむオフホワイト系や薄いベージュ系を使用します。これらのベースとなるカラーを選択し、東峰村オリジナルカラーコードとします。

東峰村オリジナルカラーコード

●メインカラー



宝珠山エンジ(鉄サビ色)
日塗工:99-30P
3M:JS-1235XL バーガンディ



小石原ベンガラ(赤絵色)
日塗工:07-40V
3M:JS-1233XL クラシカルレッド



岩屋ブラウン(焦げ茶色)
日塗工:09-20D
3M:JS-1202XL セピア



岩屋ベージュ(藁色)
日塗工:21-70H
3M:JS-1105XL デザートベージュ



大行司イエロー(土壁色)
日塗工:19-60T
3M:JS-6104XL サンフラワー



宝珠山ミルキー(ミルキーグレイ)
日塗工:22-87C
3M:JS-1114XL ミルキーグレイ



岩屋ホワイト(アイスホワイト)
日塗工:25-92B
3M:JS-1107XL アイスホワイト



小石原ダーク(ブラックブラウン)
日塗工:19-30B
3M:JS-1215XL メテオブラウン



宝珠山ブラウン(暗枯れ葉色)
日塗工:09-30D
3M:JS-1238XL クローズブラウン



東峰レッド(暗赤色)
日塗工:05-30T
3M:JS-1225XL クリムソン

●サブカラー



岩屋ゴールド(金近似色)
日塗工:22-50P
3M:JS-1301XL ゴールド



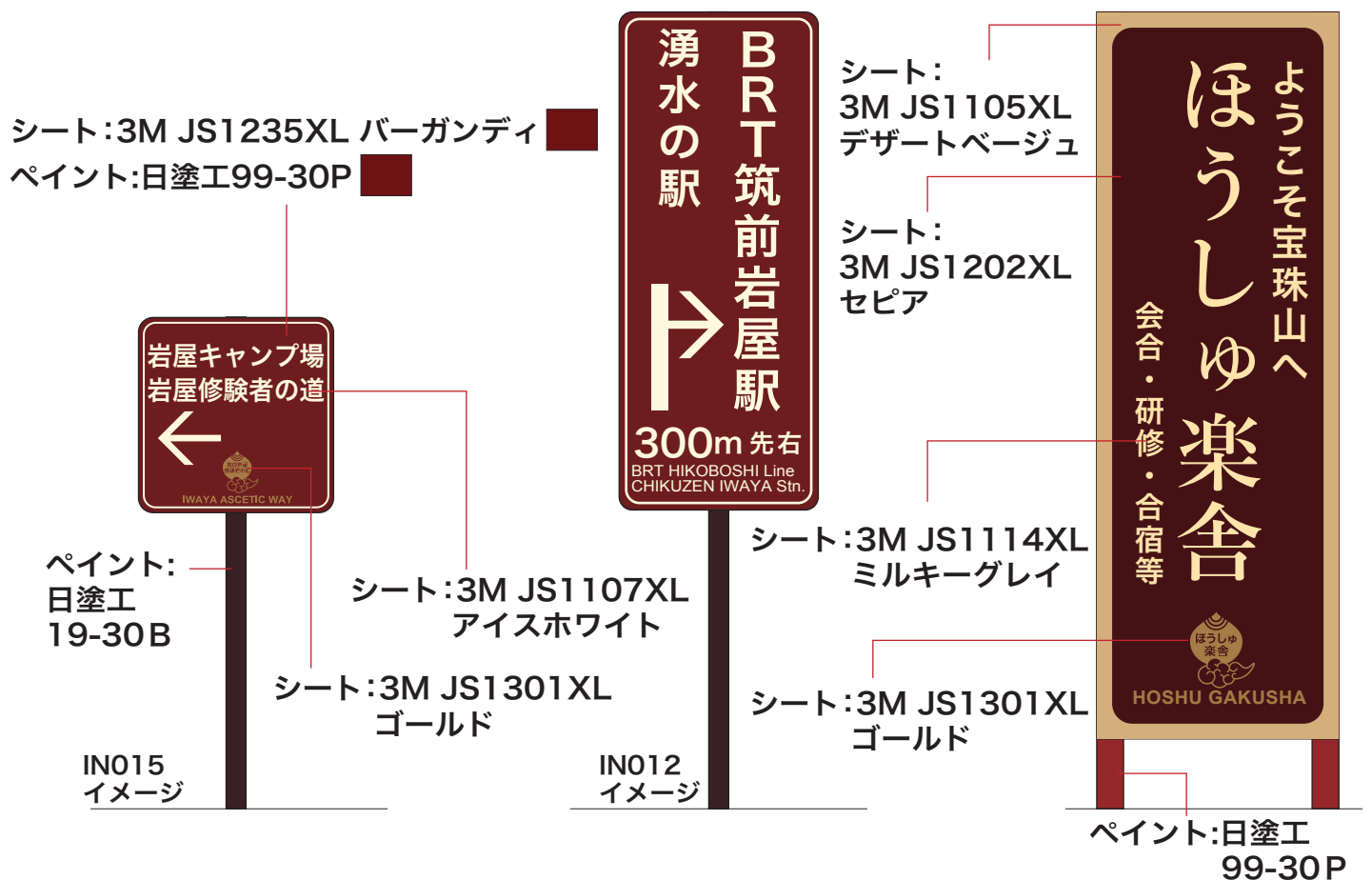
小石原グリーン(三彩緑色)
日塗工:29-40H
3M:JS-1705XL サースティグリーン

【具体的サインデザイン】

新規製作するサインおよびサイン板面の色彩について

- 景観を阻害しない落ち着いた色彩をベースとし、視覚的に明瞭な文字・記号表記色を採用。
- アースカラーを基本とし、特に誘導サインや解説サインはベースカラーを赤茶色系で統一。
- 脚部は鉄製の場合、亜鉛溶融メッキのみ無塗装も可とする。塗色は黒、赤さび色の全艶消し。
- 木製サインは無垢材を使用し、注入材使用または有害物質の少ない木材保護塗料で塗色。

統一ルートサイン制作例



3. サインの持続的な利用を目指して

村内の観光サインの中には設置以来メンテナンスの機会が無く、汚損や退色、場所によっては腐朽によって倒壊しているものも見受けられます。自治体の役割としてもサインメンテナンスは重要ですが、日頃から地域住民の皆さまが地元のサインに誇りを持ち、大切にしてください。頂くことも望まれます。例えば 1 年に 1 回で良いのでエリア内のサインを布などでクリーニングするイベントを開催したり、個人の希望者に委託料を用意して 5 日ほど、車で回りながら全村のサインを軽く掃除するアルバイトをお願いするなどの方法があります。これだけでもサインは長持ちし、同時に常日頃からサインの現況を把握することができます。サイン整備とともに、こうしたメンテナンスの仕組み作りを考える必要があります。

観光サインを大切なホスピタリティツールだと考える
サインメンテナンスを自治体や住民の手で



東峰村内のサインは汚れがひどいものも多く見られる。定期的なメンテナンスが必要。新設分はセルフクリーニングコーティングを推奨したい。



- 一度立てたら終わりではないサイン…サインで集客力も変わる
- 自治体、住民の協力で年に 1 回はサインを軽く「拭う」メンテを
- 汚損、破損、褪色を把握するためにもメンテナンスは大切
- 子どもたちや、来村者が楽しみながらクリーニングするイベントも可能
- メンテナンスひとつで東峰村観光サインの耐久性が大きく伸びる